

今期業績がボトム一本格化する中国系建機メーカーへのシェア拡大

下剋上（アジア市場から始まる建機メーカーの優勝劣敗）

ヤマシンフィルタ株式会社
2020年3月期第2四半期
決算説明資料

東証一部

6240

2019年11月15日

20年3月期第2四半期における事業環境・当社取り組みについて

事業環境

- 世界の建機市場の5割強を占める中国市場において、品質の改善や価格競争力で勝る**中国系建機メーカーの市場占有率が顕著に拡大、主要得意先各社のシェア減少が鮮明**
- 東南アジアは、国政選挙による公共投資の抑制が継続しつつも、需要は堅調、主要得意先は**中国系建機メーカーの台頭によりシェア縮小が加速**
- 主要得意先各社の在庫調整等は一巡し補給品を中心に受注は回復基調
- 米中貿易摩擦、EU離脱問題により先行きに不透明感残るも、中国経済は**インフラ投資拡大と第4次環境規制対応に対する新車特需**もあり、建機市場は下支えされる
- 北米・欧州・日本の建機需要は底堅く推移



当社取り組み

- 主要得意先各社が中国市場でのシェアを落とす中、第4次環境規制対応新機種開発を背景に**中国系建機メーカーへの参入を加速**
- 建機用フィルタを主軸に新素材やIoT技術を活かしたラインナップの充実を図る
- エアフィルタ専門メーカー「株式会社アクシー」の完全子会社化により、事業シナジーの発現及び経営の安定化の強化
- 「YAMASHIN Nano Filter™」の素材を基軸に、アパレルの製品化が実現、エアフィルタ市場並びに他の産業副資材市場への積極的な営業技術提案を加速

20年3月期第2四半期業績動向

- 売上高はとりわけQ1までの主要得意先各社の在庫調整等の影響を受け低調であったが、補給品を中心に受注は回復基調に転じた。しかしながら、中国及び東南アジア市場における主要得意先の更なるシェア減少により**前年同期比18.5%減収の5,811(百万円)**となった
- 営業利益は売上高の減収により、**前年同期比64.2%減益の388(百万円)**
- 通期業績下方修正のポイント
 - 増収要因**：中国系建機メーカーへの純正品採用の拡大・加速及び2019年10月からアクシーの業績寄与
 - 減収要因**：主要得意先各社の中国及び東南アジア市場での更なる市場占有率の減速
 - 結論**：増収要因以上に減収要因の影響が大きく通期業績見通しを下方修正（当期が業績のボトム）

20年3月期第3四半期以降の当社取り組みについて

建設機械用油圧フィルタ

中国系建機メーカーへの採用率向上

- 主要得意先の中国市場占有率の逡減傾向に伴う減収を十分に補完するため、年間で最も需要の高まる春節期や2020年12月実施予定の第4次環境規制を契機に、引き続き中国系建機メーカーへの採用率向上を加速する

中国第2純正品市場への進出

- 中国系建機メーカー保証期間終了後のアフターマーケットに対して第2純正品として当社製品供給を開始

エアフィルタの各建機メーカーへの新規提案開始

- 建機メーカー各社への当社グループ会社「アクシー」製エアフィルタの製品・技術提案開始。当社フィルタのラインナップ拡充による顧客提案力強化及び収益の拡大を図る

産業副資材として「YAMASHIN Nano Filter™」の展開

アパレル向け展開

- 紳士服販売大手での素材採用を足掛かりに、国内外大手アパレルメーカーへの当社製品供給を目指す

エアフィルタ向け展開

- 国内最大手空調機メーカーに対する当社製品供給見込み
- アクシー社の製品技術力と「YAMASHIN Nano Filter™」の素材を活用した世界初の完全ナノファイバーエアフィルタの製品化による製品差別化並びに付加価値向上による競争力強化を図る

その他

- 農業ベンチャー企業と協働し、ビニールハウスの保温資材として活用を検討する
- 「YAMASHIN Nano Filter™」の素材特性を活かした産業副資材として、異業種とのコラボレーションを拡大・加速する

I

2020年3月期第2四半期実績及び2020年3月期通期見通し

P4

II

建機市場を取り巻く環境

P29

III

今後の戦略

P39



I

2020年3月期第2四半期実績及び 2020年3月期通期見通し

2020年3月期 第2四半期業績（2019年7月~9月）



	2019/3期 Q2 実績	2020/3期 Q2 実績	前年同期比 増減	
	金額	金額	金額	%
(単位：百万円)				
売上高	3,635	3,071	△564	△15.5%
営業利益	564	270	△293	△52.0%
営業利益率	15.5%	8.8%	△6.7Pt	
経常利益	551	187	△364	△66.0%
経常利益率	15.2%	6.1%	△9.1Pt	
当期純利益	386	125	△261	△67.5%
純利益率	10.6%	4.1%	△6.5Pt	
為替レート AR USD	111.5	107.4	△4.1	△3.7%
EUR	129.6	119.3	△10.3	△7.9%

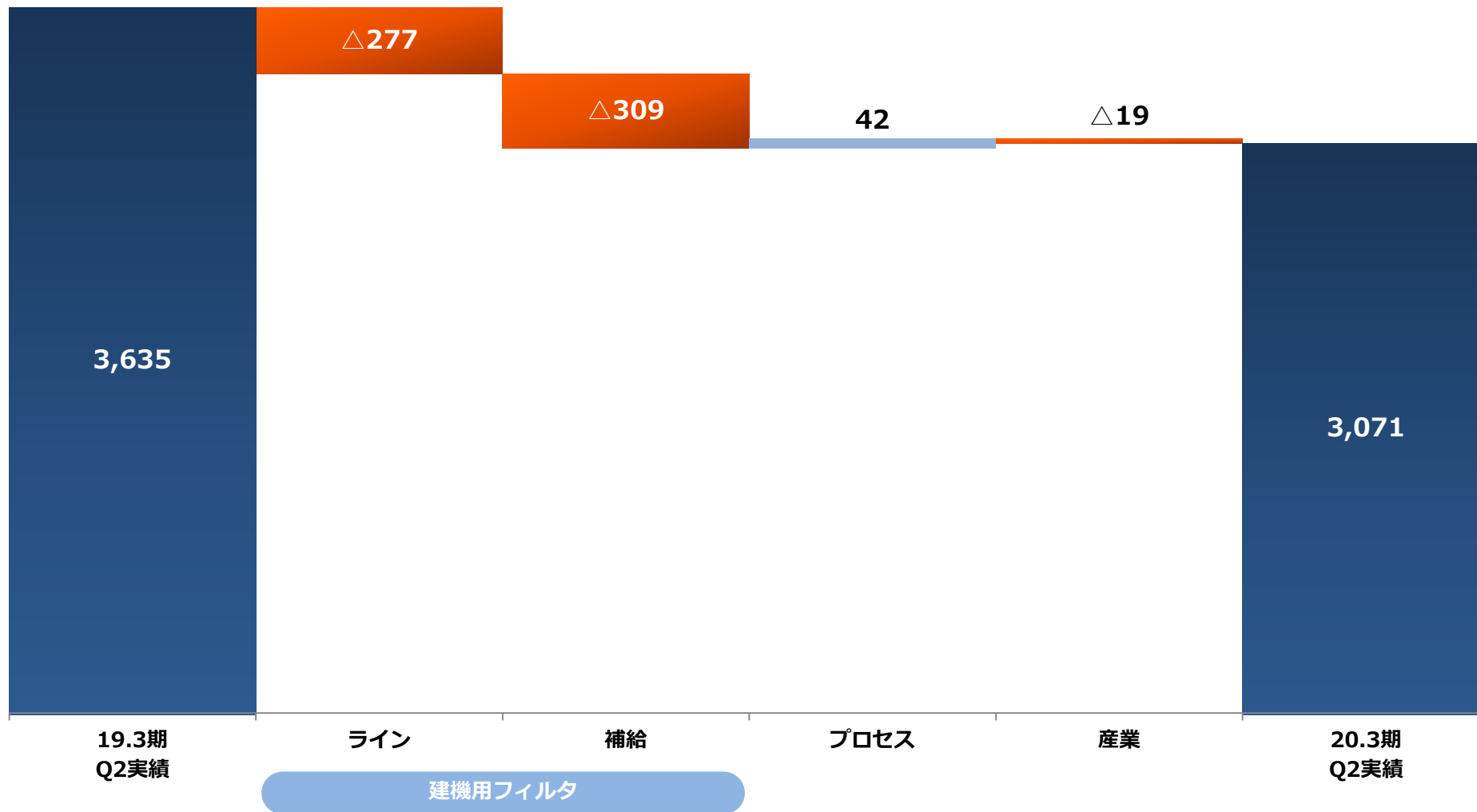
※実績為替レートは期中平均の値です。

	2019/3期 Q2 実績	2020/3期 Q2 実績	前年同期比 増減	
	金額	金額	金額	%
(単位：百万円)				
建機用フィルタ	3,290	2,704	△586	△17.8%
ライン品	1,388	1,110	△277	△20.0%
補給品	1,902	1,593	△309	△16.3%
産業用フィルタ	142	122	△19	△14.0%
プロセス用フィルタ	202	244	42	21.0%
売上高合計	3,635	3,071	△564	△15.5%

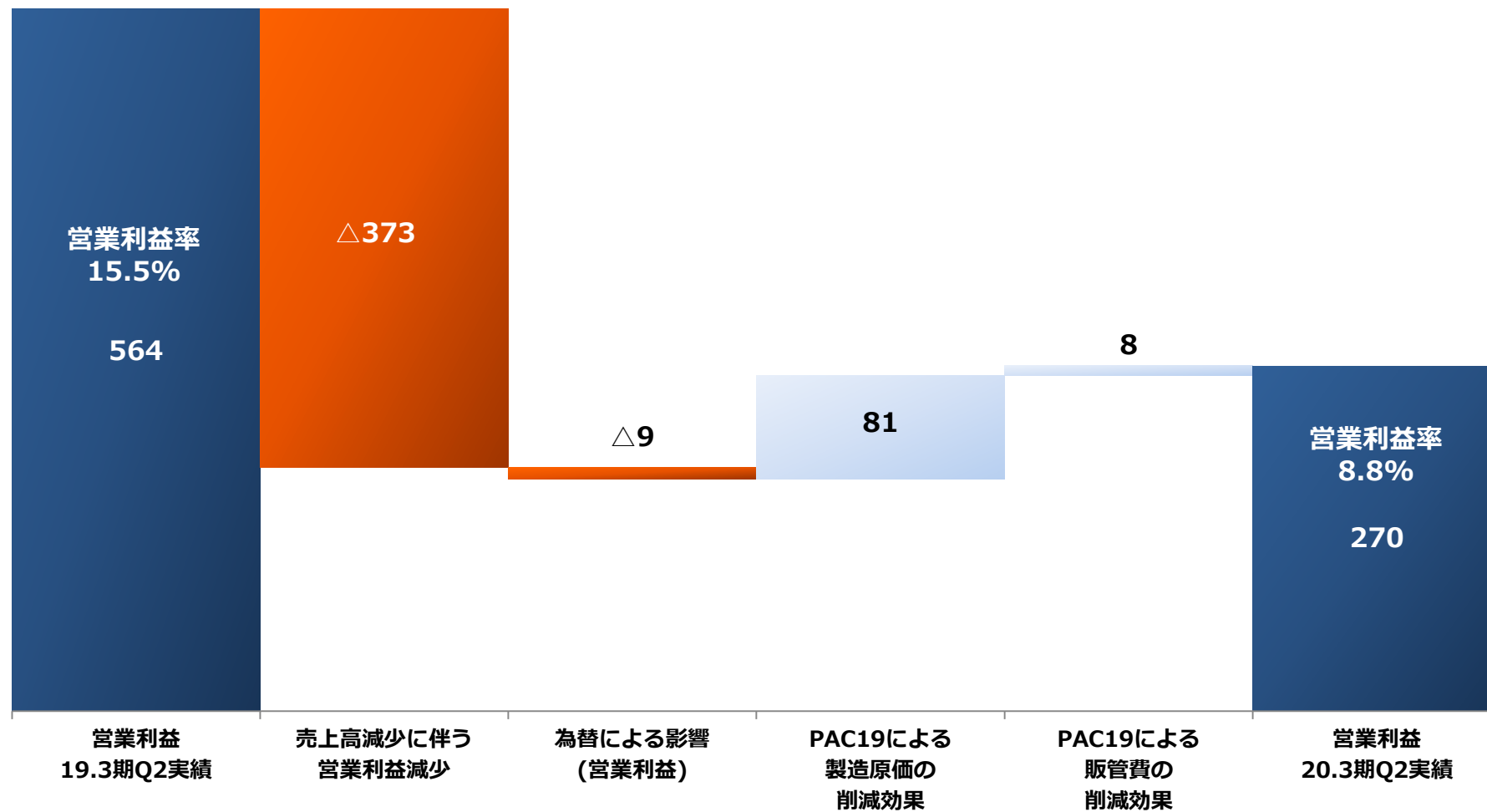
(単位：百万円)	2019/3期 Q2 実績		2020/3期 Q2 実績		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
国内	1,716	47.1%	1,463	47.7%	△253	△14.7%
北米	643	17.7%	732	23.8%	89	13.8%
中国	436	12.0%	259	8.5%	△176	△40.5%
アジア	434	12.0%	350	11.4%	△84	△19.3%
欧州	402	11.1%	263	8.6%	△138	△34.5%
その他 (中東他)	1	0.1%	1	0.0%	△0	△26.8%
売上高合計	3,635	100.0%	3,071	100.0%	△564	△15.5%

(注) 当社の請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

(単位：百万円)



(単位：百万円)



※PAC (Promptly Activated Cost reduction) 全社的なコスト削減プロジェクト

2020年3月期 第2四半期 累計業績（4月~9月）



	2019/3期 Q2累計 実績	2020/3期 Q2累計 実績	前年同期比 増減	
	金額	金額	金額	%
(単位：百万円)				
売上高	7,127	5,811	△1,315	△18.5%
営業利益	1,085	388	△697	△64.2%
営業利益率	15.2%	6.7%	△8.5Pt	
経常利益	1,076	286	△789	△73.3%
経常利益率	15.1%	4.9%	△10.2Pt	
当期純利益	808	187	△621	△76.9%
純利益率	11.3%	3.2%	△8.1Pt	
為替レート AR USD	110.2	108.6	△1.6	△1.5%
EUR	129.9	121.4	△8.5	△6.5%

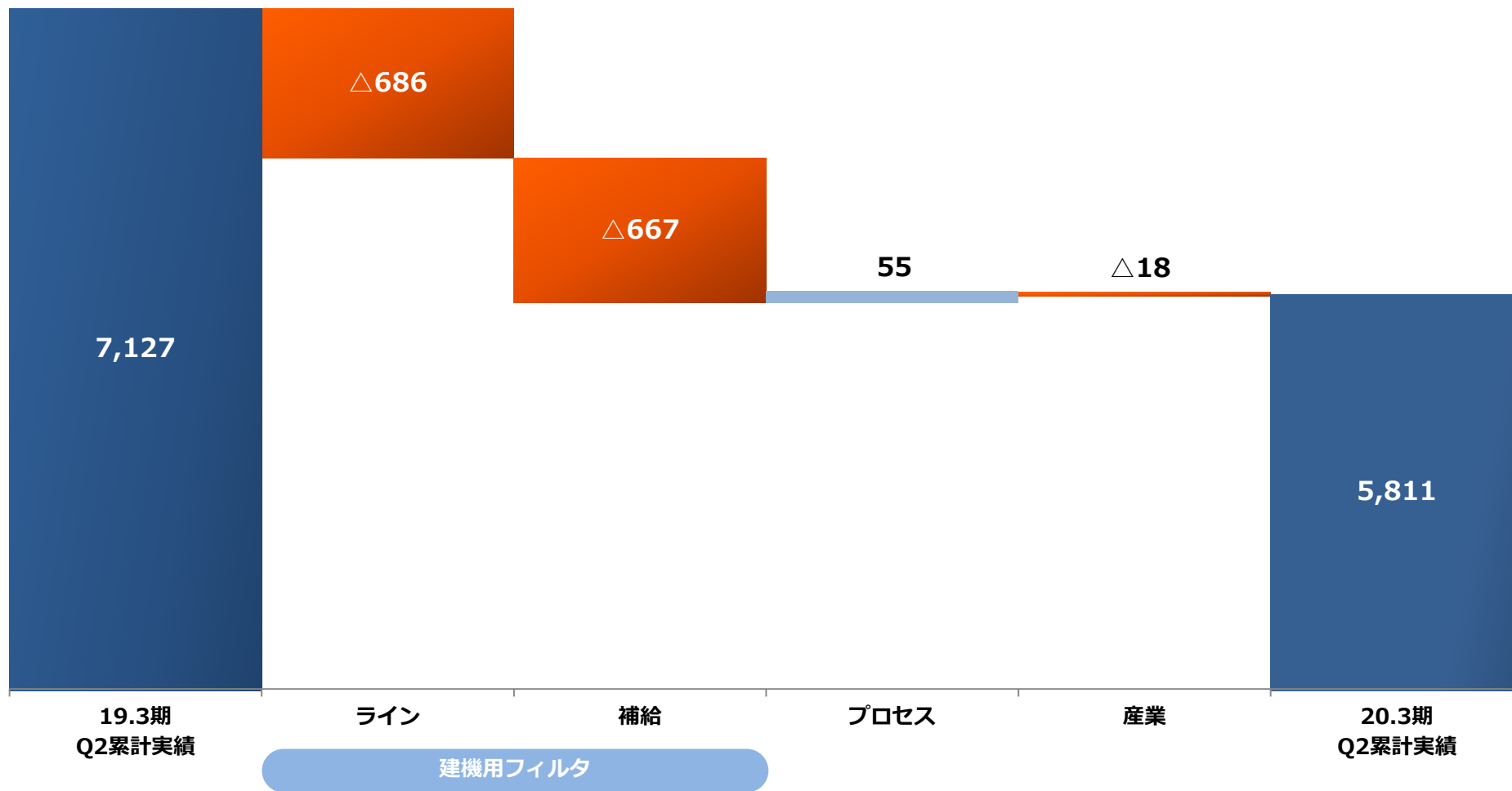
※実績為替レートは期中平均の値です。

	2019/3期 Q2累計 実績	2020/3期 Q2累計 実績	前年同期比 増減	
	金額	金額	金額	%
(単位：百万円)				
建機用フィルタ	6,446	5,093	△1,353	△21.0%
ライン品	2,900	2,213	△686	△23.7%
補給品	3,546	2,879	△667	△18.8%
産業用フィルタ	272	254	△18	△6.7%
プロセス用フィルタ	408	464	55	13.7%
売上高合計	7,127	5,811	△1,315	△18.5%

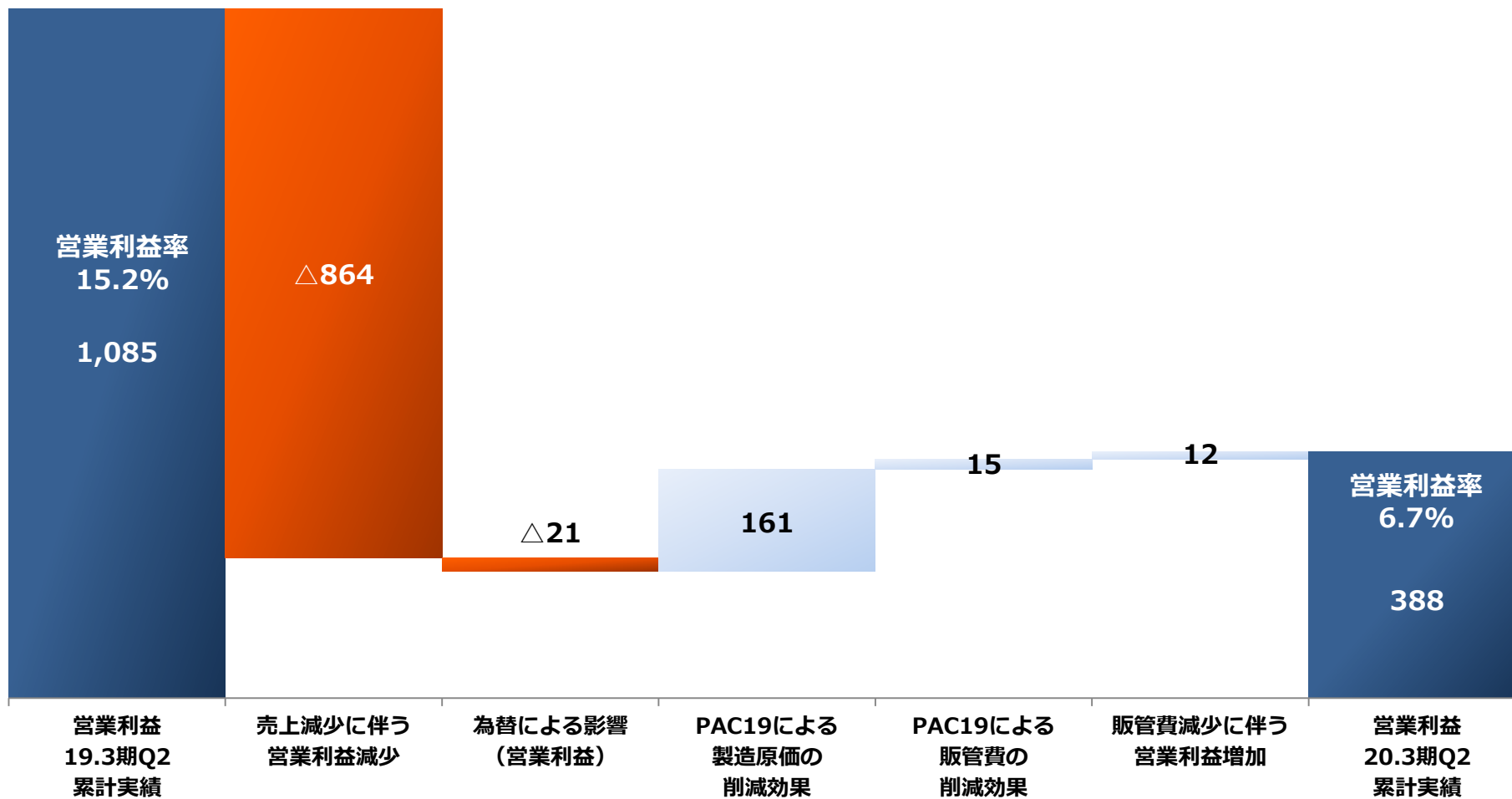
	2019/3期 Q2 累計実績		2020/3期 Q2 累計実績		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
国内	3,345	46.9%	2,821	48.5%	△525	△15.7%
北米	1,164	16.3%	1,195	20.6%	30	2.6%
中国	1,001	14.1%	588	10.1%	△413	△41.2%
アジア	918	12.9%	676	11.6%	△242	△26.4%
欧州	694	9.7%	527	9.1%	△167	△24.1%
その他 (中東他)	1	0.1%	2	0.1%	1	326.0%
売上高合計	7,127	100.0%	5,811	100.0%	△1,315	△18.5%

(注) 当社の請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

(単位：百万円)



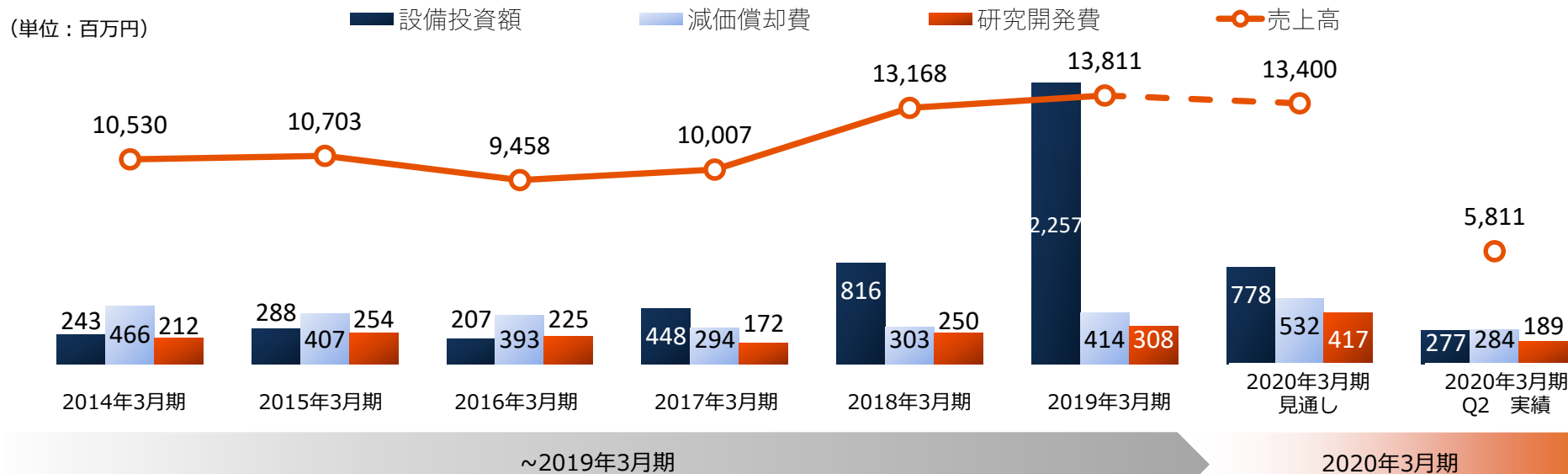
(単位：百万円)



※PAC (Promptly Activated Cost reduction) 全社的なコスト削減プロジェクト

(単位：百万円)	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2020年3月期 Q2
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	見通し	実績
売上高	10,530	10,703	9,458	10,007	13,168	13,811	13,400	5,811
設備投資額	243	288	207	448	816	2,257	778	277
構成比%)	2.3%	2.7%	2.2%	4.5%	6.2%	16.3%	5.8%	4.8%
減価償却費	466	407	393	294	303	414	532	284
構成比%)	4.4%	3.8%	4.2%	2.9%	2.3%	3.0%	4.0%	4.9%
研究開発費	212	254	225	172	250	308	417	189
構成比%)	2.0%	2.4%	2.4%	1.7%	1.9%	2.2%	3.1%	3.3%

売上高及び設備投資・減価償却費の年度推移



管理部門にとどまらず、現場にまで 企業価値向上の目標数値を落とし込む

MAVY'sとは (ROIC - WACC)

Maximizing
Added
Value of
Yamashin Filter
Spread

投下資本の利潤最大化を目指し、
各責任部署が (KPI) を設定し
業務に取り組む (KSF) ための
最重要指標 (KGI)

MAVY's
スプレッド拡大により
ステークホルダーの期待に応える

各指標に対して、担当部署を
割り振り、各KPIを設定して
目標達成に向けた業務運営を
全社にて行う

Key Goal Indicator (KGI)	Key Performance Indicator (KPI)	Key Success Factor (KSF)	責任部署	20.3期部門目標 (action plan)	20.3期第2四半期進捗			
MAVY's Prv: 0.0% Cur: -5.5%	ROIC Prv: 7.8% Cur: 4.4%	売上高営業利益率 Prv: 14.2% Cur: 9.4%	売上総利益率 Prv: 46.9% Cur: 44.8%	売上高伸長率 Prv: 4.9% Cur: -3.0%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	・中国企業への参入拡大・加速 ・エアフィルタラインナップによる製品・提案力強化 ・新規事業領域への進出	・中国系建機メーカー向け新機種標準品採用決定 ・アパレル業界向け量産供給開始 ・ハイブリッドフィルタの各社提案進捗 ・建機向けエアフィルタ、空調用エアフィルタ製品化進展
				売上原価率 Prv: 53.1% Cur: 55.2%	購買力強化 歩留り改善	生産・購買	・PAC19 ・購買手法の改革改善 ・生産管理の改善	・購買先の評価基準の見直しと集約の実施 ・共通購買(アクション)による調達コスト削減 ・計画的な保守・保全実施による歩留まり改善・製造原価削減
				減価償却費率 Prv: 2.8% Cur: 4.0%	投資計画	経営企画 財務経理	・M&A(収益拡大・経営安定化手段) →エアフィルタ会社買収(完了) →不織布事業体買収(下流) →新素材開発企業買収(上流)	・アクション社買収完了、PMIの推進 ・来期に向けた国内外のM&Aデータの収集並びに潜在可能性あるM&A先とのコミュニケーションの強化(電話会議等)
	WACC Prv: 7.8% Cur: 9.9%	販管費率 Prv: 32.7% Cur: 35.4%	研究開発費率 Prv: 2.2% Cur: 3.1%	人件費率 Prv: 13.5% Cur: 15.2%	テーマの絞り込み 優先順位	開発	・新素材の開発 ・IoTの取り組み ・エアレーション他技術開発	・ナノファイバー製エアフィルタ製品化の加速 ・各得意先各種センサー試験品供給 ・産学連携による新素材開発の加速
				売上債権回転率 Prv: 4.2 Cur: 4.1	最適な人員構成	人事・総務	・タレントマネジメント制度 策定・運用	・次世代マネジメント層の発掘 ・製品開発に向けた研究要員の増員 ・事業再編にかかる 職業専門家スタッフの採用
				運転資本回転率 Prv: 3.5 Cur: 3.4	債権管理	営業 財務経理	・債権回収率の改善	・運転資金改善に向けた債権回収の効率化・合理化対応
	ROE Prv: 8.1% Cur: 4.5%	投下資本回転率 Prv: 0.8 Cur: 0.7	棚卸資産回転率 Prv: 6.6 Cur: 6.2	仕入債務回転率 Prv: 5.2 Cur: 5.1	適正在庫の設定	生産 営業	・全社棚卸資産の圧縮	・棚卸資産のバレット分析に基づく適正在庫量の決定ならびに削減計画の履行
				有形固定資産回転率 Prv: 5.3 Cur: 3.3	債務管理	購買 生産	・ワーキングキャピタル改善	・運転資金の改善に向けた債務支払い回転率の適正化
				固定資産回転率 Prv: 3.0 Cur: 2.4	設備計画 (R&D・生産)	経営企画 総務・生産・開発	・投資回収効果最適化	・投資収益回収期間の妥当性分析による開発及びR&D投資優先判断の実行
	ROA Prv: 6.8% Cur: 3.8%	無形固定資産回転率 Prv: 36.4 Cur: 36.4	投資計画 知財戦略	投資計画 知財戦略	経営企画 法務(知財)	・知財戦略の策定とアクションプランの作成	・戦略の作成と行動計画の立案及び関係者への研修強化 ・中国市場での積極的の特許出願	

※KPI算定の前提

Prv : 2019年3月期 Q2・年間実績値

Cur : 2020年3月期 Q2実績+予算 : 見通し

- 生産技術・管理・システムの総合的な改善を実施し、利益体制の強化を図る

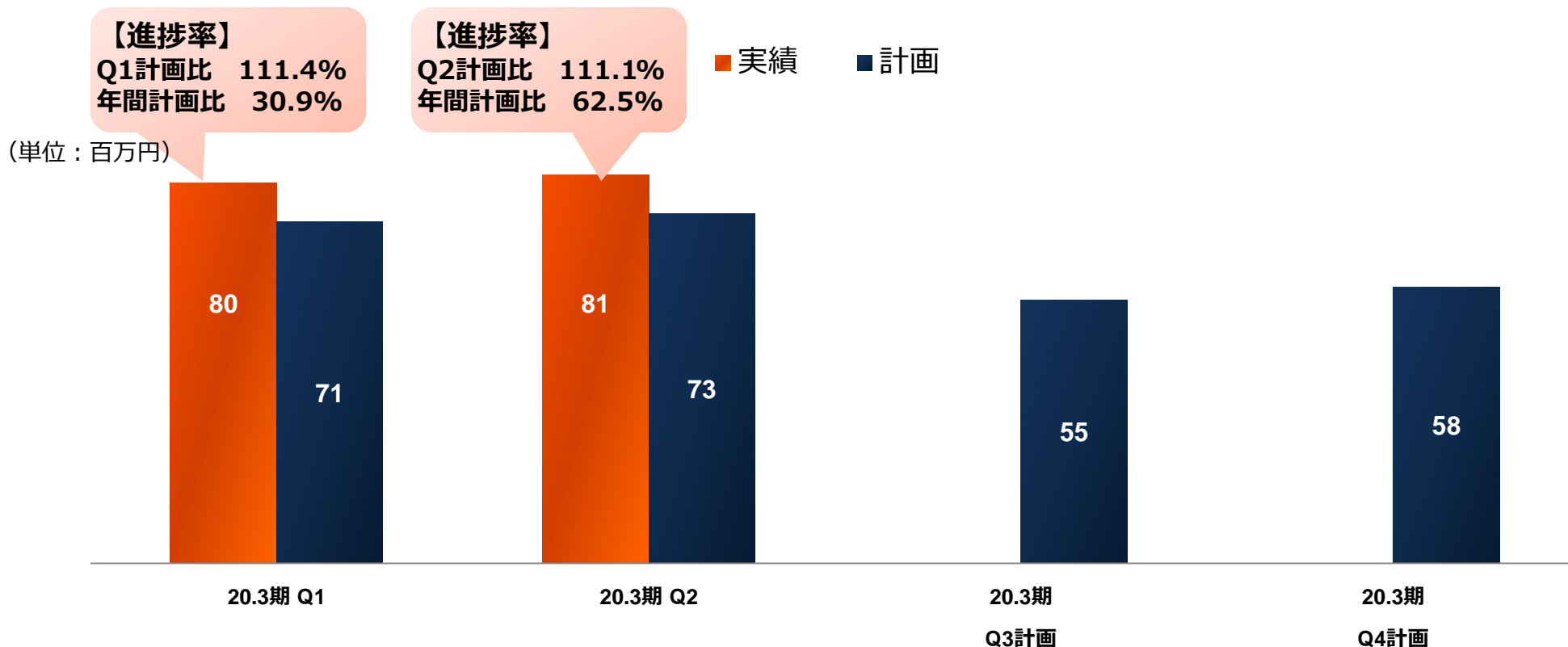
PAC19

Promptly 迅速

Activated かつ効果的な

Cost reduction コスト削減計画

20**19**



2020年3月期 通期業績予想



	2019年3月期 実績	2020年3月期 期初予算	2020年3月期 見通し	2020年3月期 期初予算対 2020年3月期見通し
	金額		金額	金額
(単位：百万円)				
売上高	13,811	13,000	13,400	400
売上総利益	6,479	6,300	6,000	△ 300
売上総利益率	46.9%	48.5%	44.8%	△3.7pt
販売管理費	4,515	4,650	4,750	100
販管比率	32.7%	35.8%	35.4%	△0.4pt
営業利益	1,963	1,650	1,250	△ 400
営業利益率	14.2%	12.7%	9.3%	△3.4pt
経常利益	1,915	1,600	1,135	△ 465
経常利益率	13.9%	12.3%	8.5%	△3.8pt
当期純利益	1,413	1,100	800	△ 300
純利益率	10.2%	8.5%	6.0%	△2.5pt
為替レート AR USD	110.9	108	108	-
EUR	128.4	130	130	-

(注) 株式会社アクシーの連結に伴い合算数値を掲載しております

	2019年3月期 実績		2020年3月期 期初予算		2020年3月期 見通し		2020年3月期期初予算対 2020年3月期見通し	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
建機用フィルタ	12,353	89.4%	11,543	88.8%	10,511	78.5%	△ 1,032	△8.9%
ライン品	5,535	40.1%	5,062	38.9%	4,550	34.0%	△ 512	△10.1%
補給品	6,817	49.3%	6,481	49.9%	5,961	44.5%	△ 520	△8.0%
産業用フィルタ	548	4.0%	572	4.4%	537	4.0%	△ 35	△6.1%
プロセス用フィルタ	909	6.6%	883	6.8%	950	7.1%	67	7.6%
既存ビジネス 合計	13,811	100.0%	13,000	100.0%	12,000	89.6%	△ 1,000	△7.7%
新規ビジネス (エアフィルタ)	-	-	-	-	1,400	10.4%	1,400	-
売上高合計	13,811	100.0%	13,000	100.0%	13,400	100.0%	400	3.1%

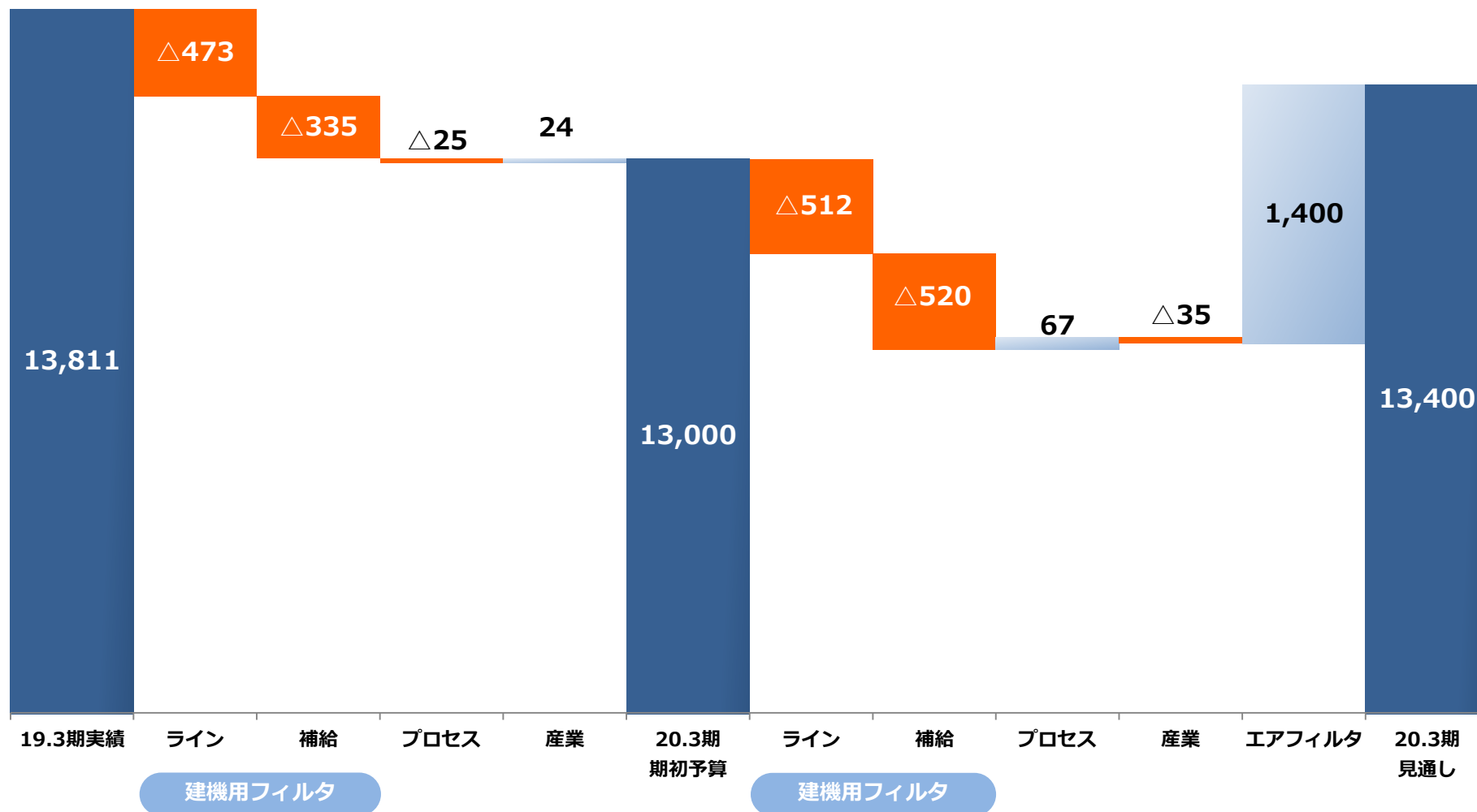
(注) 株式会社アクシーの連結に伴い合算数値を掲載しております

	2019年3月期 実績		2020年3月期 期初予算		2020年3月期 見通し		2020年3月期期初予算対 2020年3月期見通し	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
国内既存 (建機フィルタ)	6,541	47.5%	6,058	46.6%	5,723	42.7%	△ 335	△5.5%
北米	2,253	16.3%	2,438	18.8%	2,451	18.3%	13	0.5%
中国	1,813	13.1%	1,480	11.4%	1,229	9.2%	△ 251	△16.9%
アジア	1,741	12.6%	1,694	13.0%	1,495	11.2%	△ 199	△11.7%
欧州	1,454	10.5%	1,298	10.0%	1,087	8.1%	△ 211	△16.2%
その他（中東他）	6	0.0%	29	0.2%	11	0.1%	△ 18	△59.8%
既存ビジネス 合計	13,811	100.0%	13,000	100.0%	12,000	89.6%	△ 1,000	△7.7%
国内新規 (エアフィルタ)	-	-	-	-	1,400	10.4%	1,400	-
売上高合計	13,811	100.0%	13,000	100.0%	13,400	100.0%	400	3.1%

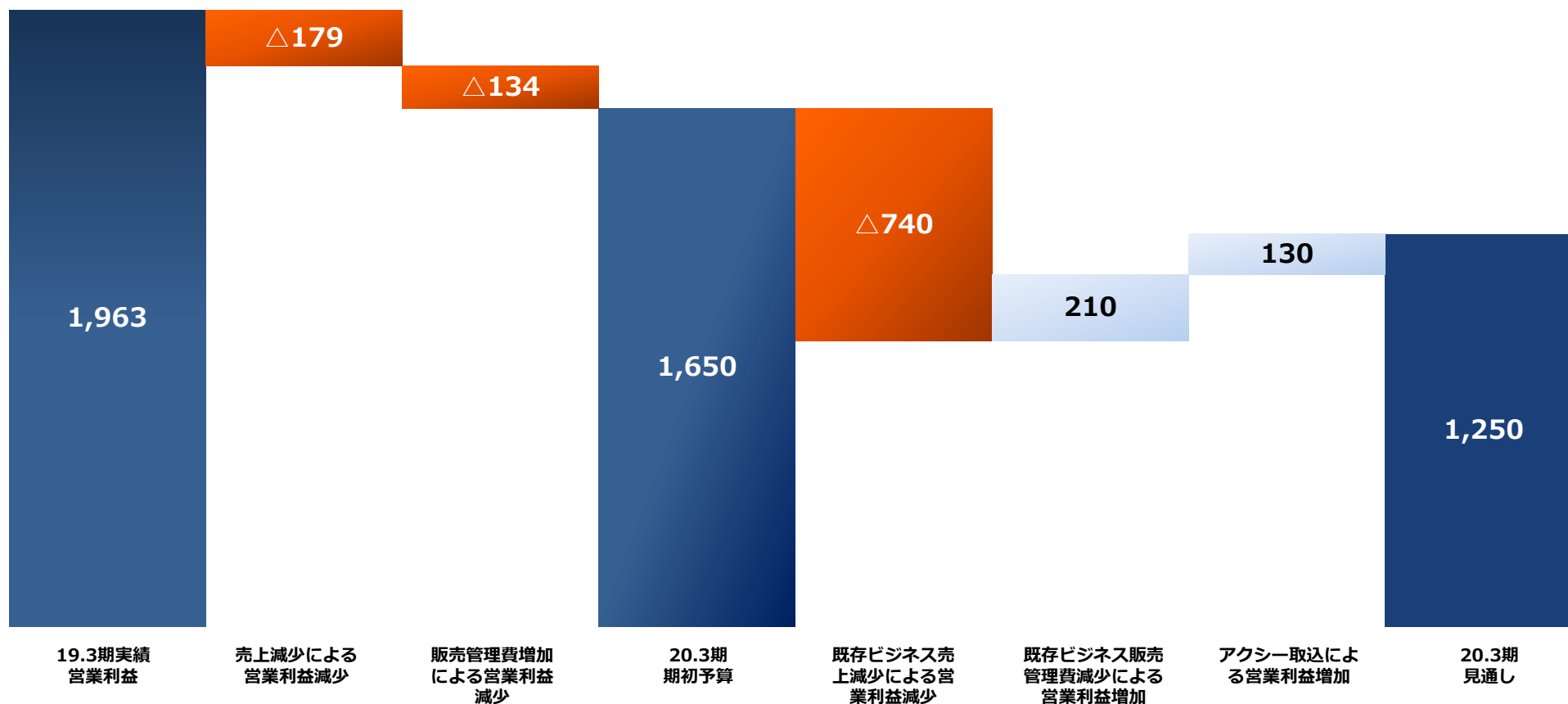
(注) 当社の請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

(注) 株式会社アクシーの連結に伴い合算数値を掲載しております

(単位：百万円)



(単位：百万円)



為替は完全マリーが継続している。為替感応度0.1%を実現



取引通貨の7割はJPY

USDは為替マリーを実現

- 為替が1円円高になった場合の営業利益影響額は約2百万円増益

中間配当 3.0円、期末配当3.0円の年間6.0円据え置き

	17年3月期	18年3月期	19年3期	20年3月期 予想
1株当たり 配当金	2.4円※1	3.6円※1	6.0円	6.0円
DOE	2.3%	1.9%	2.4%	2.3%
総還元性向※2	25.6%	21.6%	31.9%	59.0%

注) 2017年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております

※1 2017年3月期、2018年3月期の配当額については、参考値として上記株式分割後の金額を記載しております

※2 総還元性向= (配当総額+自己株式取得+株主優待) ÷当期純利益



II

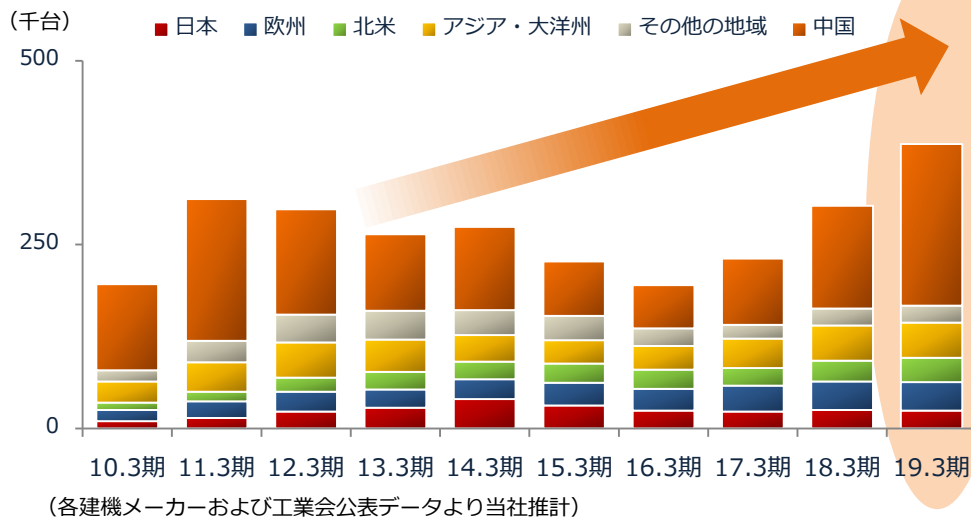
“建機市場を取り巻く環境”

- 米中貿易摩擦の懸念があるものの、中国は公共投資を対策として実施。
中国経済は全体的には堅調に推移
- 世界の建機市場の5割強を占める中国市場において、当社主要得意先各社はシェア縮小、
新車生産計画を下方修正、補給品在庫持ち高調整を実施

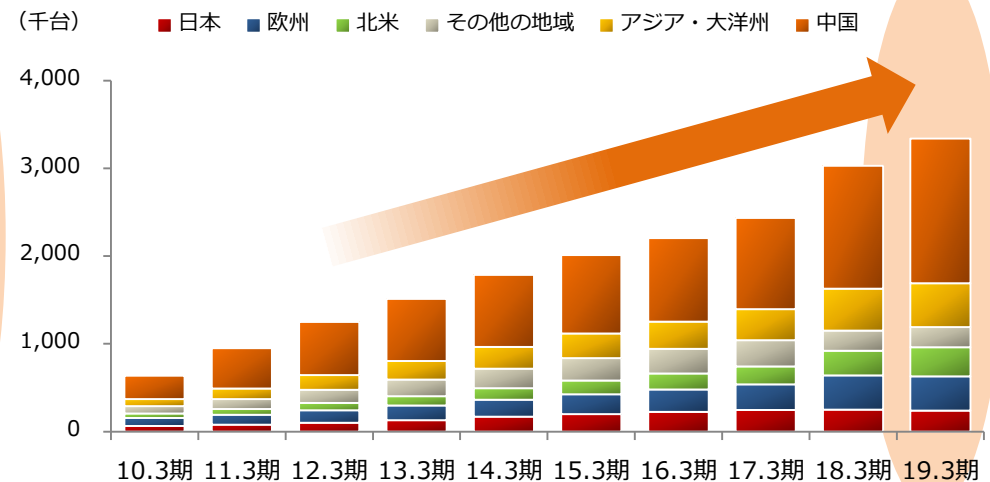
	2020/3 1Q	2020/3 2Q	今後の見通し
中国	インフラ投資拡大に伴い堅調に推移 当社主要得意先のシェア減少が顕著	インフラ投資拡大に伴い堅調に推移 中国系建機メーカー台頭	政府主導による公共投資下支え継続 Tier4環境規制に伴う特需、 中国系建機メーカーへの拡販の加速
東南 アジア	インドネシア、タイ、フィリピンでの 国政選挙影響により需要は一時的に減少	国政選挙影響により需要は一時的に減少 中国系建機メーカー台頭	インフラ整備等の潜在需要は堅調
北米	インフラ投資中心に 需要は前年比増加	米中貿易摩擦懸念あるが 需要は堅調に推移	需要は堅調に推移すると見込む
日本	設備投資・公共投資持ち直し 需要は前年並み	設備投資・公共投資増加基調 需要は前年並み	需要は前年並みと見込む
欧州	EU離脱問題先行き不透明も 需要は堅調に推移	EU離脱問題先行き不透明も 需要は堅調に推移	需要は堅調に推移すると見込む

中国・排ガス規制(Tier4)と堅調な新車需要の推移

新車需要



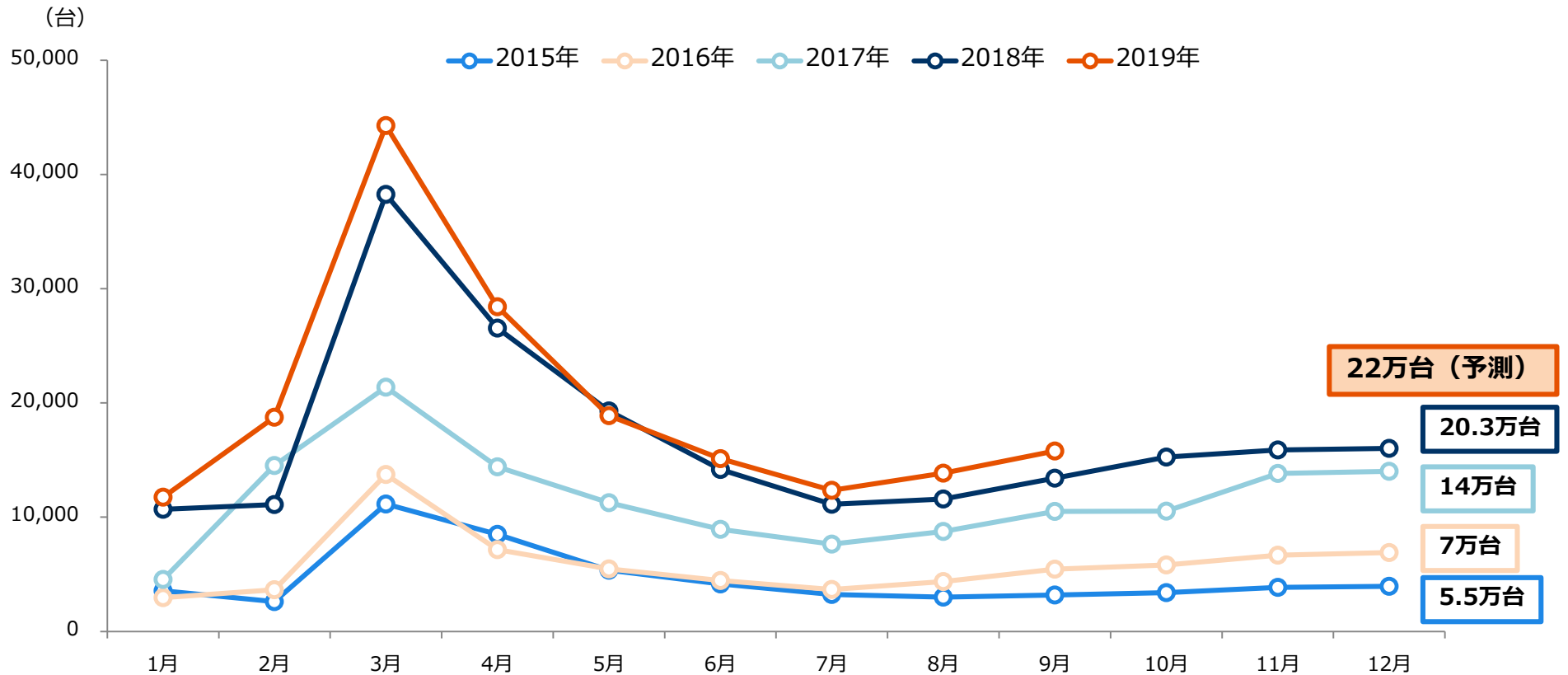
累積稼働台数



- 中国・東南アジア中心に、建設・資源需要の旺盛な市場の新車需要は来期に向け堅調に推移すると見込む。
- 建機の累積稼働台数の拡大により、アフターマーケット市場が活性化すると予測する。

中国油圧シヨベル需要は今年も旺盛に推移

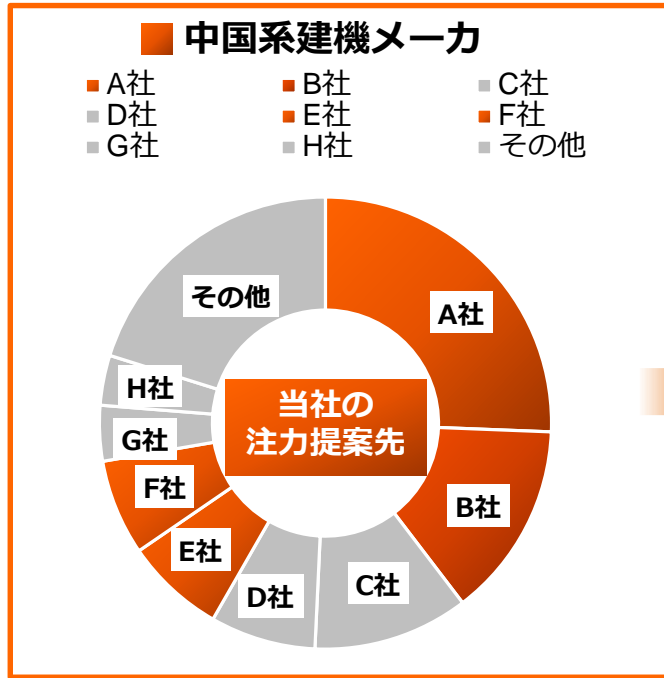
年度別販売推移（月別）



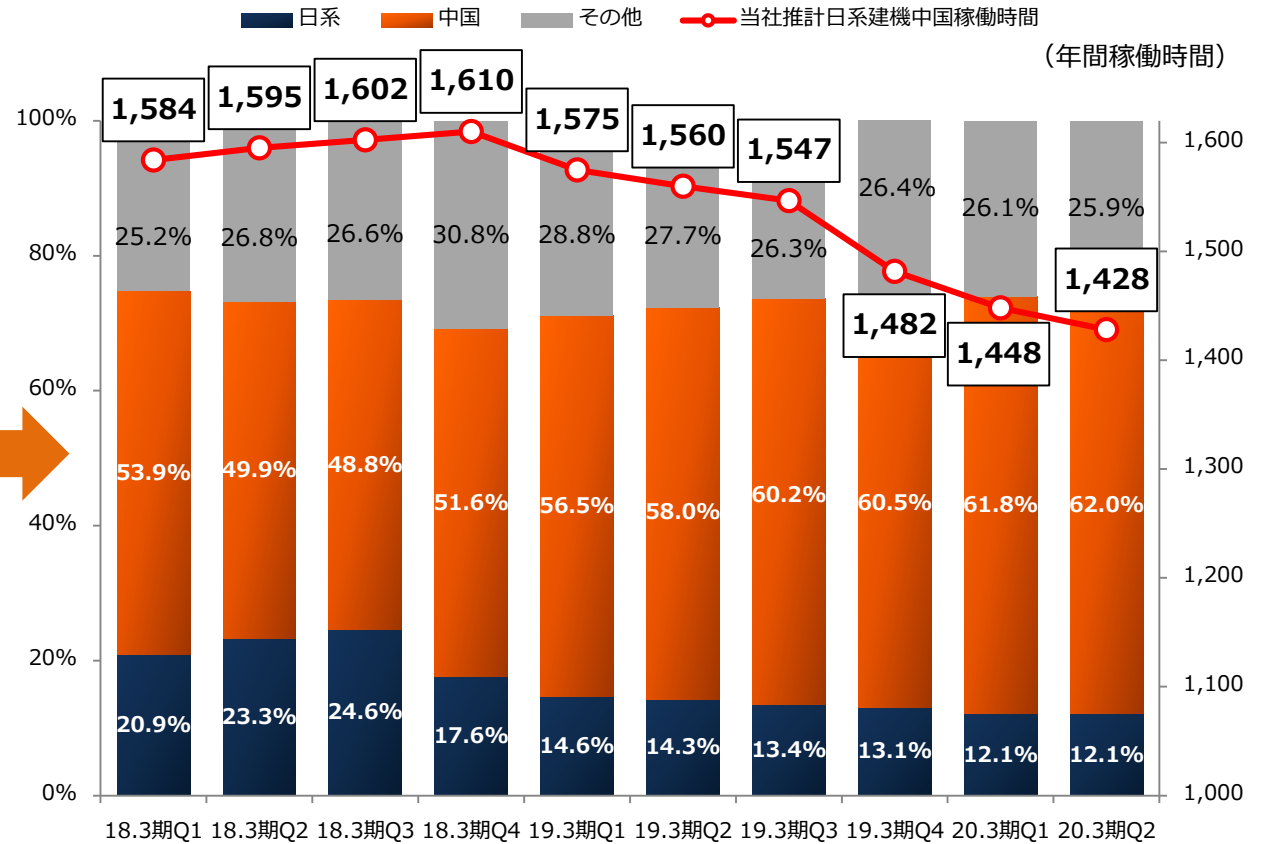
(各建機メーカーおよび工業会公表データより当社推計)

日系建機メーカーのシェアが下がり、中国系建機メーカーのシェアがUP

中国建機市場における、 主要建機メーカーシェア

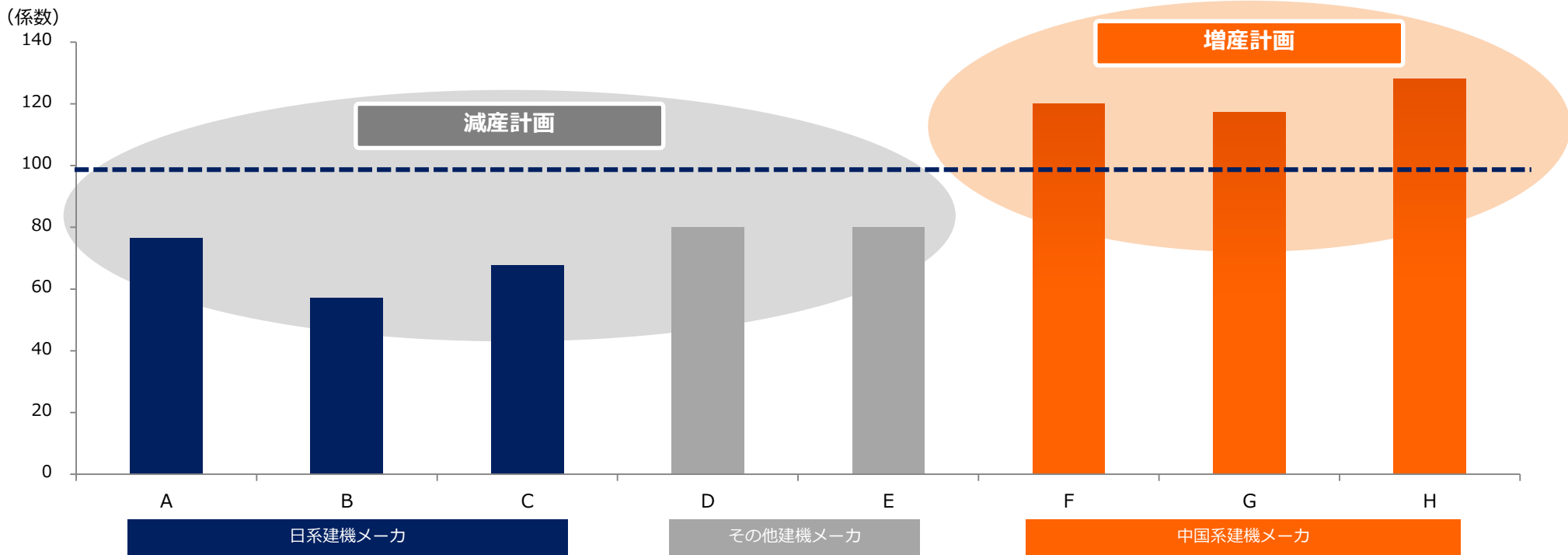


中国市場 販売シェア推移



日系・その他メーカーが軒並み減産計画に対し、
中国系建機メーカーは大幅な増産を計画。

中国・アジア市場における
主要建機メーカー工場生産計画係数



(各建機メーカーおよび工業会公表データより当社推計) 前期実績を100に係数化

中国系建機メーカーへの提案に注力し、シェアを拡大する

ライン品売上拡大計画

中国国内市場規模

約**44**億円

補給品売上拡大計画

中国国内市場規模

約**84**億円

当社製品採用ニーズの高まり

- ◆ 中国政府主導によるインフラ投資の拡大基調継続
- ◆ 第4次環境規制開始（2020年12月予定）に伴う当社独自技術の需要増加
- ◆ エンドユーザの消費マインドが価格重視から品質重視に変化
- ◆ 新車累積販売台数の増加に伴うアフターマーケット規模は大幅に拡大
- ◆ 中国系建機メーカーの海外展開に伴うグローバルサプライヤのニーズの高まり



ライン品売上拡大に向けた取り組み

- ◆ 製品ラインナップの拡大と価格戦略
高付加価値製品（ロングライフ、IoT）の供給
既存製品拡販に向けた価格戦略の展開

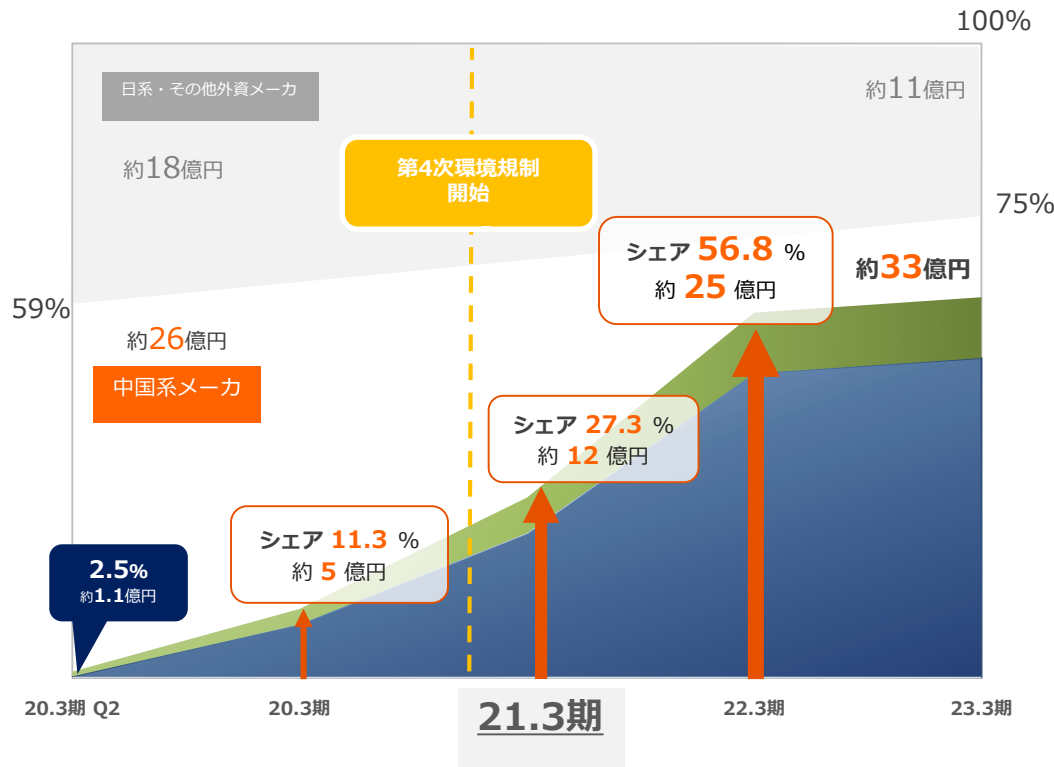
補給品売上拡大に向けた取り組み

- ◆ 当社ブランドを使用した販売戦略の展開
メーカー保証期間終了後、販売代理店との直接取引

ライン品売上拡大計画

中国国内市場規模

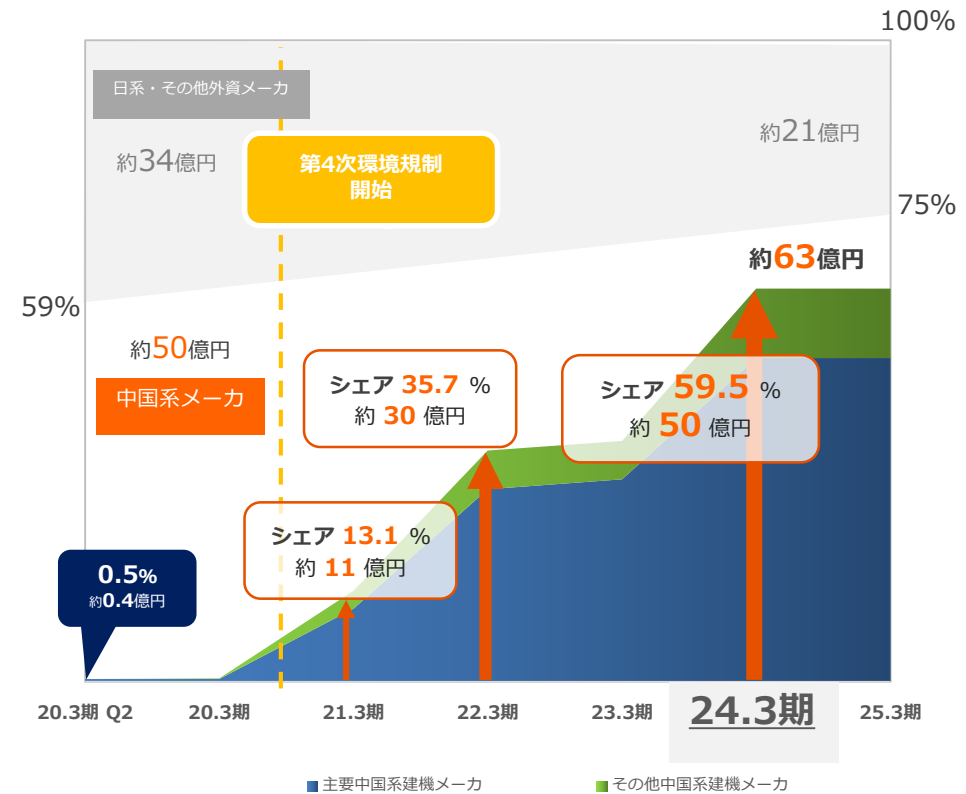
約**44**億円



補給品売上拡大計画

中国国内市場規模

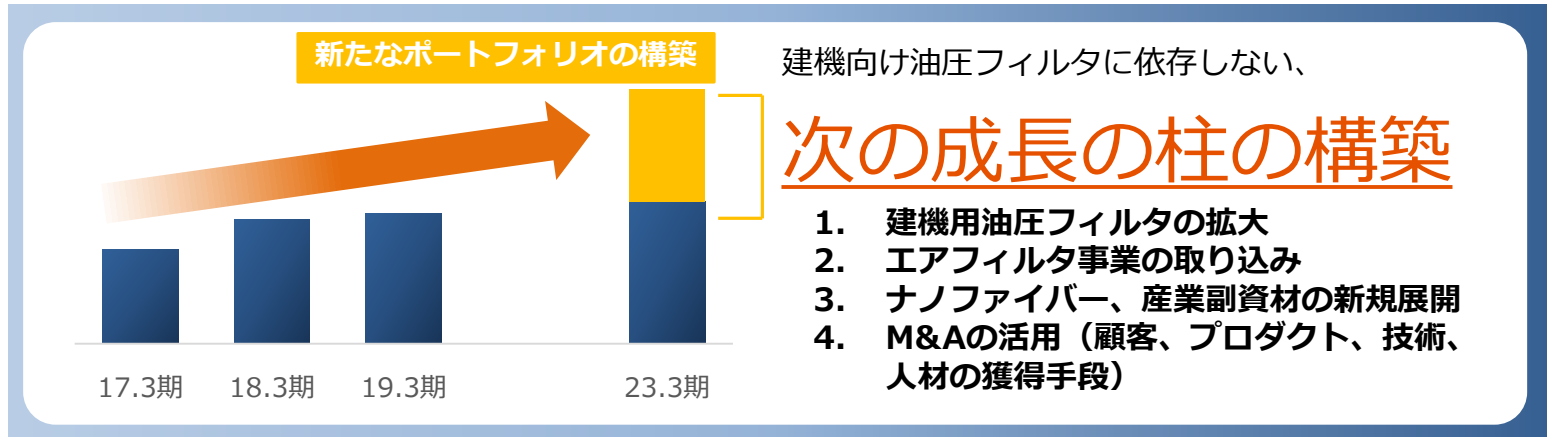
約**84**億円



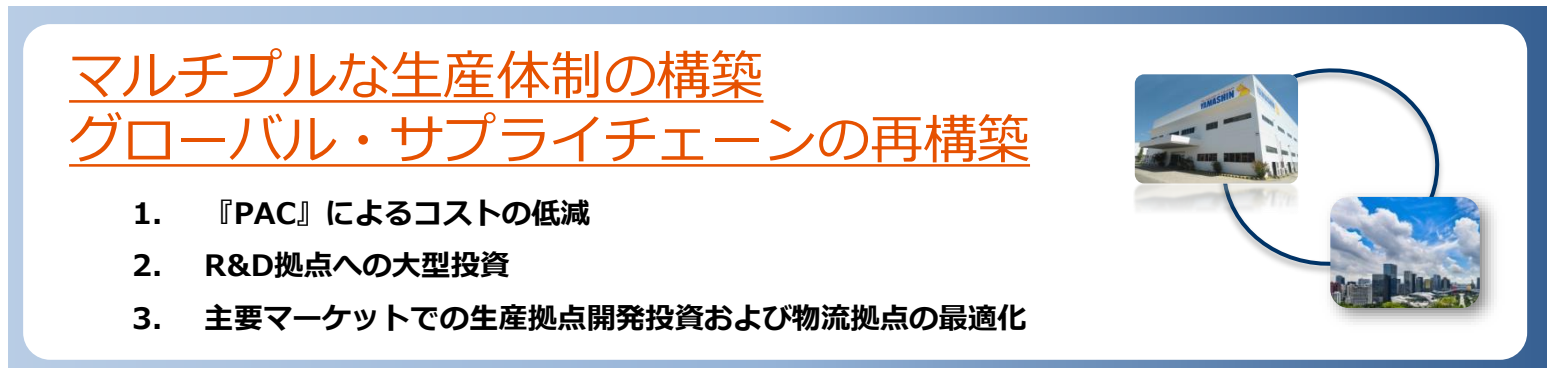
※シェア：中国国内市場規模全体を100%とした場合の当社売上占有率

専門フィルタメーカーから総合フィルタメーカーへの飛躍

事業ポート
フォリオの
拡大



収益性の
改善

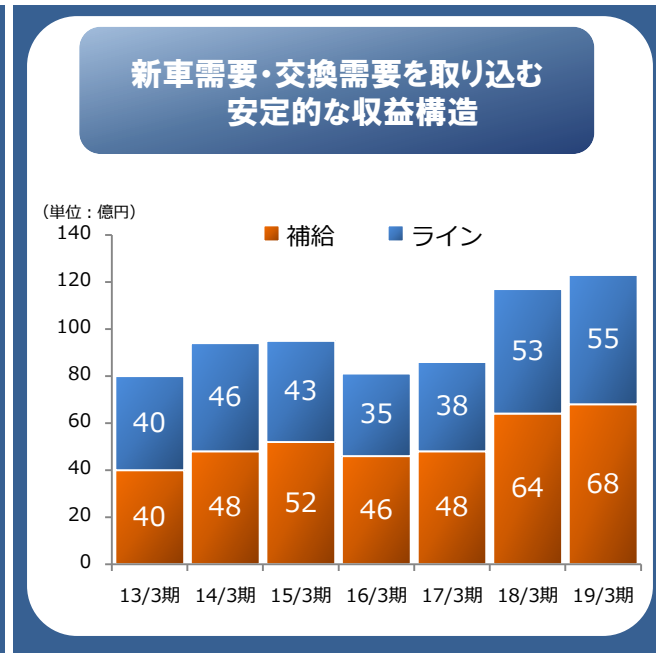
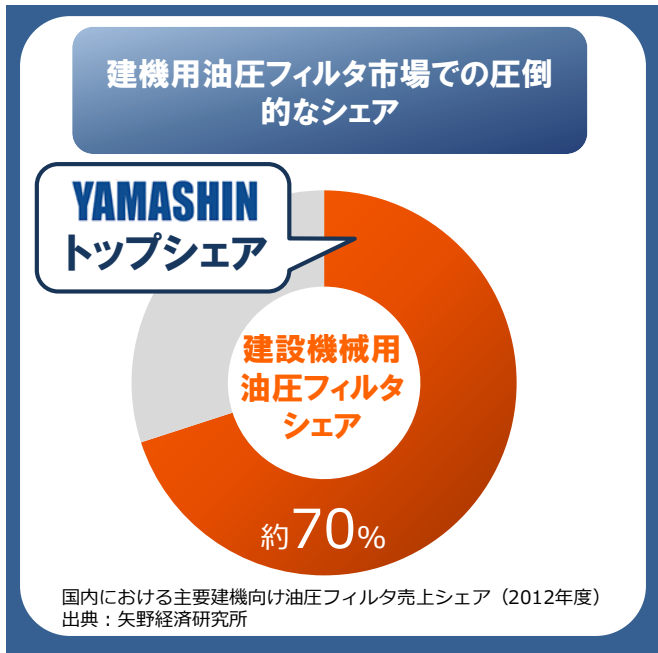
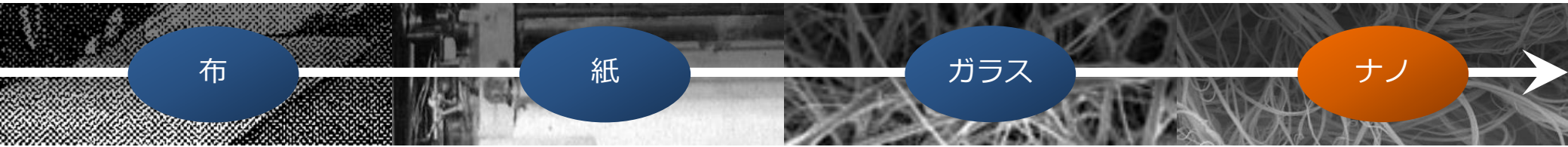


時価総額 1 兆円、売上高 1,000 億円を目指す

		主な取り組み	進捗状況
建機 フィルタ	ライン品	・故障予知、IoT・ICT技術の提案	・大手メーカー向けにSWIFTROCK™・ライフセンサ搭載提案中。実機試験継続中
		・新素材を使ったリターンフィルタの提案	・新素材を使ったリターンフィルタ量産供給開始 ・来期以降主要得意先への展開本格化
		・中国系建機メーカーへの拡販	・Tier4規制対応新機種向けに、ハイブリッドフィルタの採用が開始 ・既存機種に対しての当社製品の切り替え増加
	補給品	・セミナー展開によって非純正品からのシェア向上	・中国系建機メーカーの補給品として当社製品採用開始 ・中国系建機メーカー向け第2純正品市場への進出
産業・プロセス フィルタ		・製品ラインナップの拡充・強化	・SWIFTROCK™の搭載提案等
ナノ フィルタ	アパレル	・国内外の主要アパレルメーカーへの当社ナノファイバー製品の提案加速	・主要紳士服メーカーへの新素材量産供給開始 ・最大手アパレルメーカーを含む多数の企業依頼による試作品の提案並びに来期商品化に向けた企画提案
	エア フィルタ	・次世代エアフィルタの開発並びに量産化体制の確立	・2020年3月期中に新素材エアフィルタの量産供給に向け、開発を進展中 ・大手白物家電メーカーに対し当社新素材開発提案進展 ・買収したアクシーとのシナジー実現に向けた取組み継続
	産業 副資材等	・建材、車両等の幅広い産業副資材需要に向けたナノファイバー素材・製品の提案	・AI等を活用した次世代農業ベンチャー企業への当社新素材保温シートの標準化進展 ・自動車吸音材の量産供給進展
事業領域 拡大の施策		・新規事業領域拡大	・エアフィルタ事業を第2の事業ポートフォリオ構築の足掛かりとしてアクシー社を完全子会社化 ・国内外の事業領域拡大向けエアフィルタ、不織布の事業領域、またナノ技術を持つ企業へアプローチ

III 今後の戦略

建設機械の進化に応じた、革新的なろ材の研究開発力



- 当社は効率的なインフラの整備に貢献してきた。
- 高い品質と豊富な実績に下支えされ、グローバル展開する日本・欧米・中国の大手建機メーカーに多くの製品が採用されている。

株式会社アクシーの全株式を取得。 エアフィルタ分野における当社プレゼンスの拡大を図る。



- 建機用フィルタ市場におけるシェアNo. 1
- PAC、MAVY'sによる強固な経営基盤
- 高い研究開発力
- 新素材「YAMASHIN Nano Filter™」展開による
更なるシェア拡大

- 創業以来、エアフィルタ製造に係る事業で成長
- 粗塵・中高性能フィルタ市場で国内有数のシェア
- 顧客要望に対応できる「多品種」「短納期」「小ロット」でのオーダーメイド体制の構築

統合により期待される効果

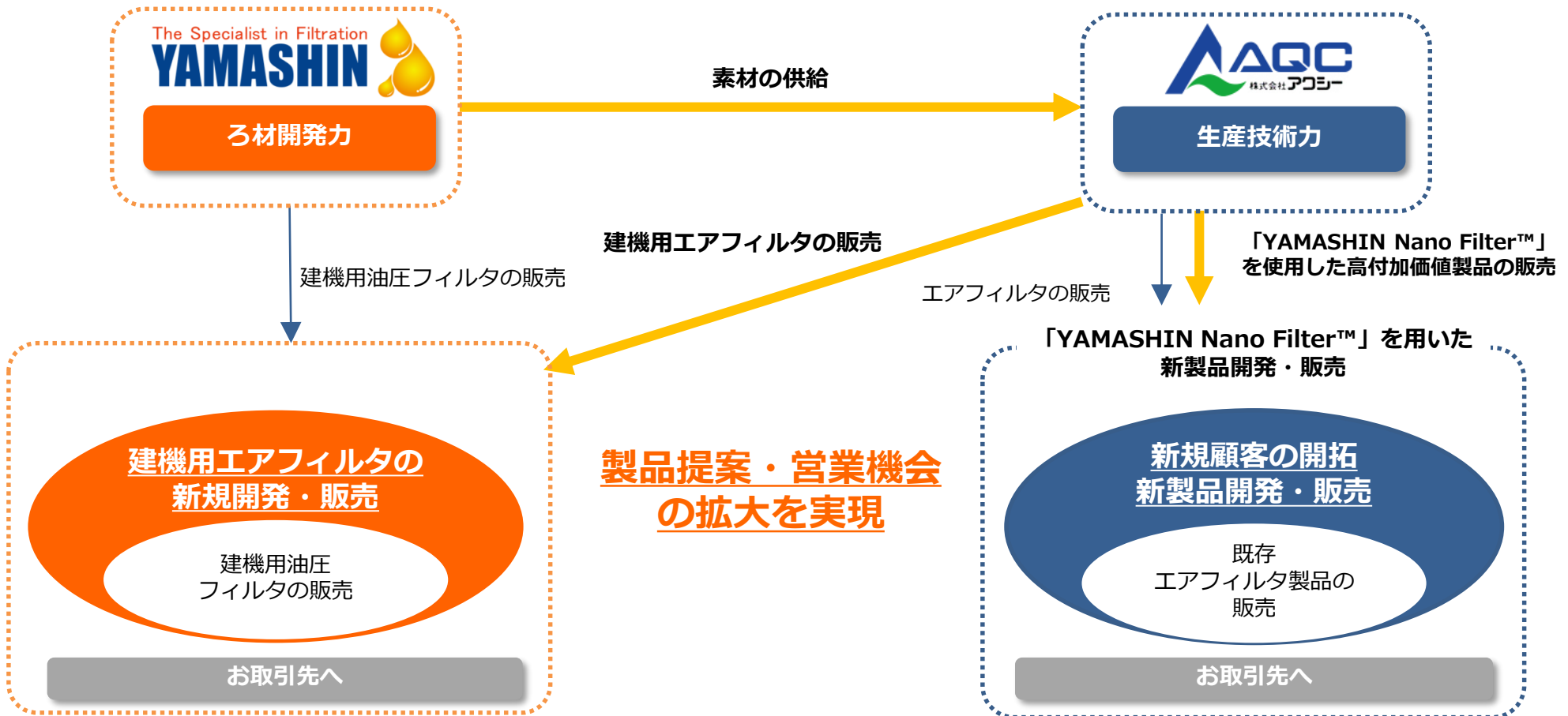
- 新たな事業ポートフォリオ獲得による経営基盤の強化
- アクシー製エアフィルタの当社得意先への水平展開
- 新素材「YAMASHIN Nano Filter™」の展開による、
アクシーエアフィルタ製品のラインナップ拡充や既存製品
付加価値向上

- アクシーの当社グループ化による、新素材「YAMASHIN Nano Filter™」による新規エアフィルタ製品の量産販売体制の確立

特に中高性能フィルタ市場では、「YAMASHIN Nano Filter™」技術を応用することで、付加価値の向上・競争力の強化が見込める

相互の技術・製造・販売チャネルを活用し、さらなる新製品開発と販売の拡大を推進、総合フィルタメーカーへ。

← 従来の体制
← 実現する効果



新素材・新技術によって付加価値を向上

＜建機市場＞
付加価値向上で
マーケット
シェアアップ

稼働時間 3倍

ハイブリッドフィルタ
ガラス繊維×ナノファイバー



- ・従来品の3倍のライフ
- ・廃棄物削減、建機寿命の延長を実現



エアレーション対策システム

スマートタンク

- ・建機油圧回路内の気泡発生を抑制
- ・顧客と共同で実機テストを実施中



IoTによる「故障予知」を実現

清浄度センサ

- ・油、水の清浄度測定
- ・低コスト
- ・コンパクト設計

SWIFTROCK™

ライフセンサ

どのくらいフィルタにゴミが詰まっているか、段階的なモニタリングを行う



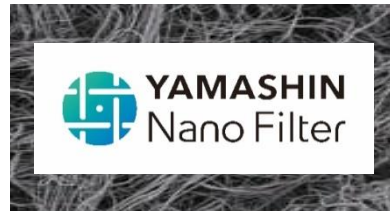
統合による効果

建機用エアフィルタ



- ・従来の建機用のフィルタだけではなく、建機用エアフィルタ分野にも製品展開

＜他業種＞
新素材を展開



2017年に
量産化技術の手法を確立

- ・一般的な合成繊維の 1/10 のごく細い繊維を、立体構造化・シート化する技術は当社オリジナル
- ・ ① 極薄特性、② 保温性能、③ 調湿機能に優れ、素材供給によってビジネス領域の拡大が可能

専門の営業部門の新設、製造ラインの増設により、新市場へ対応

顧客との密なコミュニケーションにより製品ラインナップを充実させ、
満足度・信頼度の向上を図り、製品需要の拡大を目指す

「YAMASHIN Nano Filter™」の製品化第1弾は、 衣料用素材として、紳士服2社様にご採用。

衣料用素材

株式会社コナカ様



2019/10/18発表

超保温性能を搭載した究極のストレッチコート 『ULTRA MOVE COAT』を共同企画

新素材「YAMASHIN Nano Filter™」を使用し、従来のコートには無かった機能と暖かさを併せ持った超動きやすいコート『ULTRA MOVE COAT（ウルトラムーブコート）』を（株）コナカ様と共同企画。10月12日（土）より全国の紳士服コナカ様と紳士服のフタタ様にて販売を開始します。

株式会社AOKI様



2019/10/28発表

AOKI「Active Tech」メンズ 3WAY コートに 「YAMASHIN Nano Filter™」が採用

株式会社AOKI様が先日発表された冬場のビジネスコートの新作に「YAMASHIN Nano Filter™」が裏地のライナー中綿に採用されました。製品特性を活かして、コートの中綿としては今までにない薄さと保温性・調湿性を実現しています。

その他

繊維径のコントロールにより、 高品質なフィルタの量産化が実現可能となる

① 家電用途



【要望】

- ・ガラス繊維で対応しているものの置換

【現状】

- ・更なるファイバー間の緻密さ・極細化必要
- ・線維化時の雰囲気温度の高温化が必要
- ・別途、ロングライフ化エアフィルタとしてエレクトレット加工した素材を評価予定

② 自動車内装用途



【要望】

- ・現行品の性能(吸音・防音性能)以上の素材開発

【現状】

- ・コスト競争力強化
- ・量産供給体制の整備
- ・製品化の具体的な加工、管理方法の検討

③ 生活用品用途



【要望】

- ・現行品よりも高い保温性・保冷性

【現状】

- ・ナノファイバーの断熱効果データ取得
- ・試作品の作製と実験データ取得

R&D一貫体制の確立と、マルチプルな生産体制を構築

研究開発センターの 新設 (横須賀市)



横浜開発センタ、佐賀事業所、横須賀メディアラボの**研究開発機能を集約** (2022年竣工予定)

実機試験場を整備し、
顧客要求を迅速に反映



生産拠点の 見直し・再編



フィリピンに大きく依存した生産体制を見直し、**安定的・効率的な製品の供給体制**へ再編を実施。

既存拠点の見直しを含め、**製品供給機能・生産機能・開発機能を適切に連携**させる

建設機械フィルタの専門メーカーから 「総合フィルタメーカー」への飛躍を加速

The Specialist in Filtration
YAMASHIN 

エアフィルタ



(販売・生産)

建機

YCF
(生産)

YAI
(販売・生産)

YTL
(販売)

YEB
(販売)

YST
(販売・R&D)

ナノファイバー
産業副資材

アパレル

家電

自動車内装

生活用品



参考資料

① 当社基本情報

当社グループの概要

当社グループは、フィルタのキーパーツである「ろ材」の主な材料であるガラス繊維や不織布及びフィルタの構成部品に使用される金属加工品や樹脂加工品等の仕入を行い、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタ、エアフィルタを製造しております

建機用フィルタ分野

建機の駆動に不可欠である油圧回路の作動油、燃料のディーゼル・オイル、エンジン駆動に必要な潤滑油のろ過に用いられるフィルタ
用途：様々な種類の建機



産業用フィルタ分野

様々な業界に応用されている油圧ユニットの作動油や潤滑油のろ過に用いられるフィルタ
用途：工作機械、冷凍用圧縮機、農業機械、船舶、鉄道車両、航空機やヘリコプター等の産業機械



プロセス用フィルタ分野

顧客製品の製造工程で行われるろ過・分離に必要なフィルタ
用途：電子部品、精密部品、液晶ディスプレイや食品等の業界



エアフィルタ分野

粗塵、中高性能のエアフィルタ
用途：一般ビル、ホテル、各種工場等の除塵・脱臭等



建設機械の稼働に不可欠なフィルタ 多様多彩なラインナップを提供

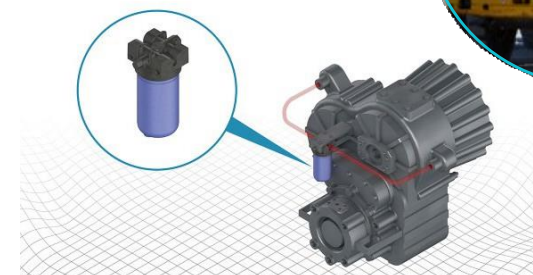
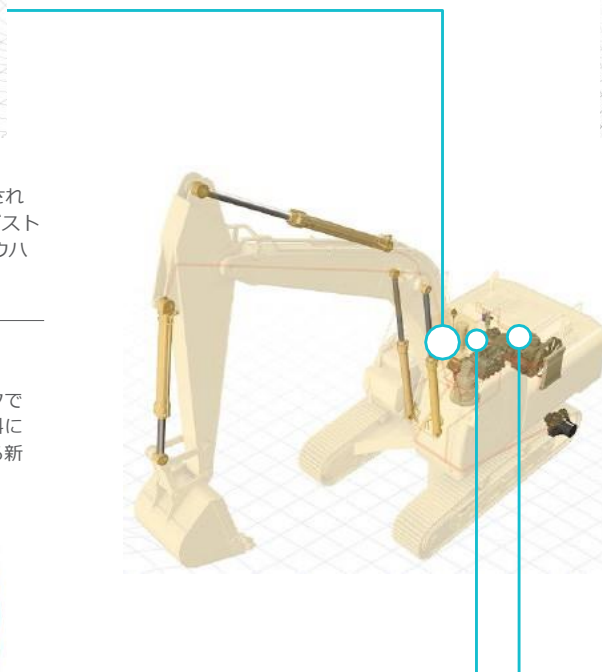
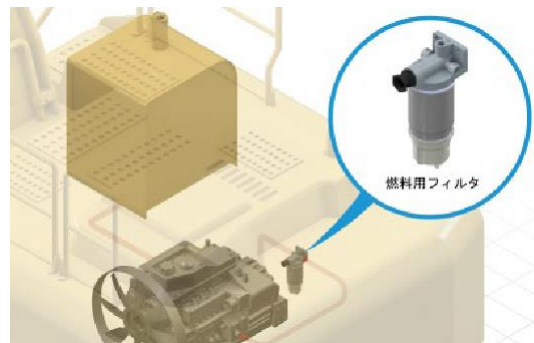


油圧用

シリンダー等の油圧機器の保護を目的に、建機に複数搭載されるフィルタです。建機の故障の原因は、約7割がオイル内のダストによる機器破損といわれています。当社では、創業以来のノウハウで最適なフィルタを提供しています。

燃料用

ディーゼル燃料に混入したダストの除去を目的としたフィルタです。昨今、世界的に進んでいる排ガス規制をきっかけに、燃料に求められる清浄度が高まっています。粗悪燃料が蔓延している新興国では、特に需要増が見込まれています。

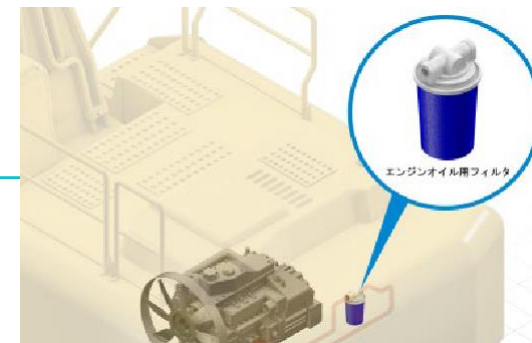


トランスミッション用

トランスミッション（変速機）機構を持つ建機に搭載されるフィルタです。トランスミッションは複数のギアで構成されるため、ギア同士の摩擦で金属粉等のダストが発生します。当社では自社製「ろ材」によってこのダストを適切にろ過し、機器のダメージを防ぎます。

エンジンオイル用

建機の各種エンジンに搭載されるフィルタです。エンジンの内部では動力を発生させるためにピストン等が高速運動をしています。エンジンオイル用フィルタは、その際に混入する摩耗（金属）粉やスラッジ（堆積物）等を除去し、性能低下や破損リスクを低減します。



セグメント と KPI

- 建機用フィルタは「**ライン品**」と「**補給品**」に分かれる
- ライン品は新車搭載用のフィルタ。重要指標は「**新車需要台数**」
- 補給品は交換部品用のフィルタ。重要指標は「**稼働台数**」×「**稼働時間**」

販売形態 地域別動向 コスト削減

- **販売形態**
建機用フィルタの売上は、建機メーカーへの直接販売。エンドユーザーへの直販は基本的に行っていない
- **地域別動向**
地域別売上高は参考値。当社請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と異なる
- **PAC19 (Promptly Activated Cost reduction 2019)**
全社的なコスト削減プロジェクト

用語	計算式
MAVY's	ROIC - WACC
ROIC	NOPAT ÷ 投下資本
投下資本利益率	(経常利益+支払利息) ÷ 投下資本
運転資本回転率	売上高 ÷ (売上債権+棚卸資産-仕入債務)
固定資産回転率	売上高 ÷ 固定資産
売上債権回転率	売上高 ÷ 売上債権
棚卸資産回転率	売上高 ÷ 棚卸資産
仕入債務回転率	売上原価 ÷ 仕入債務
有形固定資産回転率	売上高 ÷ 有形固定資産
無形固定資産回転率	売上高 ÷ 無形固定資産
Key Goal Indicator(KGI)	当期：累計実績値+予算、前期：年間実績値
Key Performance Indicator (KPI)	累計実績値比較

※貸借対照表項目について期首期末平均で計算しております。

STRENGTH (強み)

- 建機用フィルタ市場における圧倒的なシェア
- 高い研究開発力
- PAC、MAVY'sによる強固な経営基盤

WEAKNESS (弱み)

- 展開事業領域が限定されている
- 売上高の9割が建機用フィルタに依存
- 生産拠点の一極集中

OPPORTUNITIES (機会)

- 中国市場の拡大、更なるシェア獲得
- プロセス/産業フィルタの市場プレゼンス拡大

THREAT (脅威)

- 建機用フィルタの模倣品増加によるシェア低下
- 建設機械市場の変調
- プロセス/産業フィルタの成長未達

育成事業



基盤事業 (成長)



構造改革事業

基盤事業 (安定)

新素材開発後

STRENGTH (強み)

- 建機用フィルタ市場における圧倒的なシェア
- **新素材導入による更なるシェア拡大**
- 高い研究開発力
- PAC、MAVY'sによる強固な経営基盤

OPPORTUNITIES (機会)

- 中国市場の拡大、更なるシェア獲得
- プロセス/産業フィルタの市場プレゼンス拡大
- **「総合フィルタメーカー」への飛躍によるビジネス領域の拡大**

WEAKNESS (弱み)

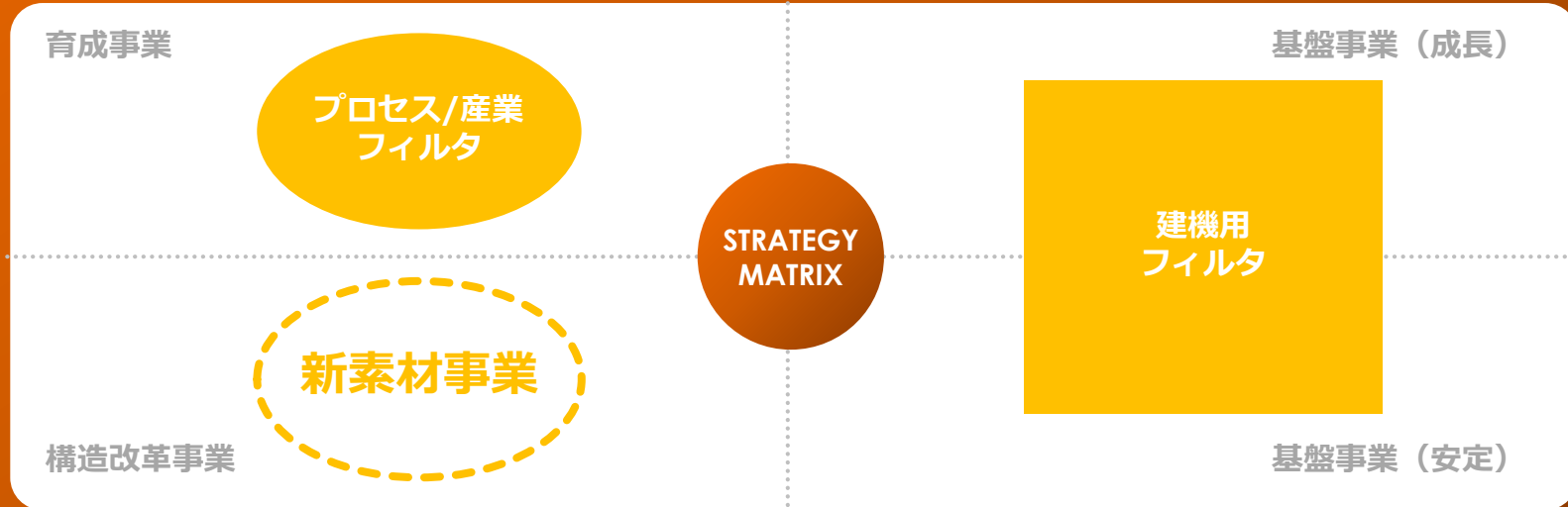
- 売上高の9割が建機用フィルタに依存


THREAT (脅威)

- 建機用フィルタの模倣品増加によるシェア低下
- 中国市場の変調
- プロセス/産業フィルタの成長未達
- **新素材商品展開の遅れ**

総合フィルタメーカーを実現し脱却予定

新素材による模倣品排除





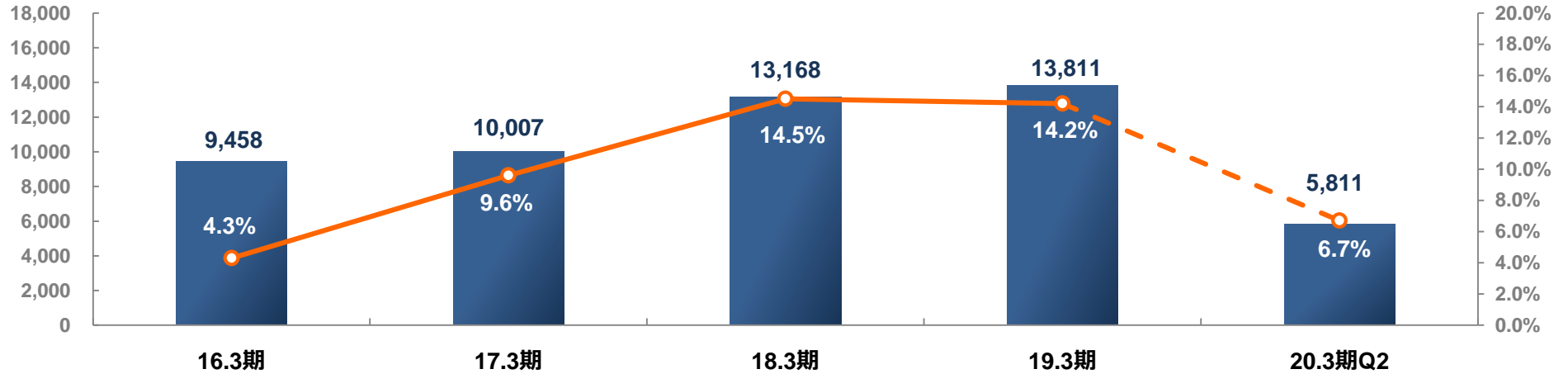
参考資料

②財務ハイライト

売上高・営業利益率推移

(単位：百万円)

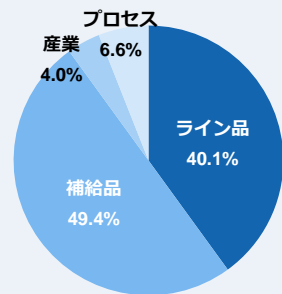
■ 売上高 ○ 営業利益率



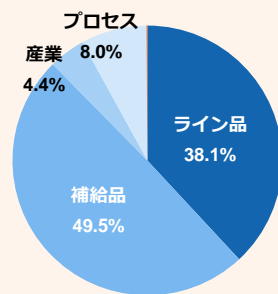
製品別売上高

地域別売上高

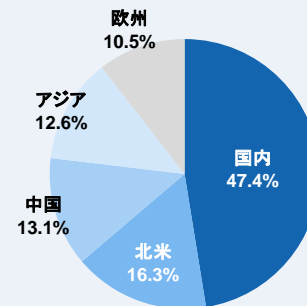
19.3期



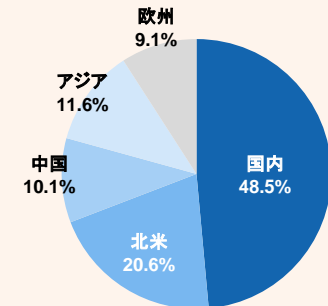
20.3期Q2



19.3期

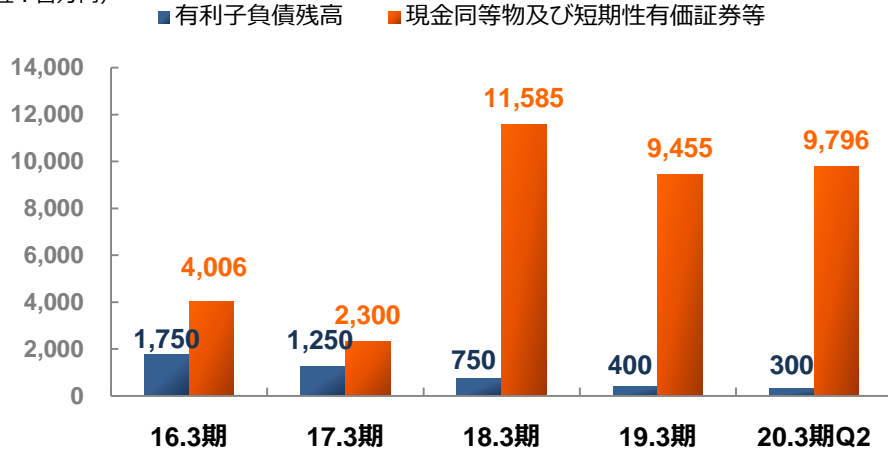


20.3期Q2

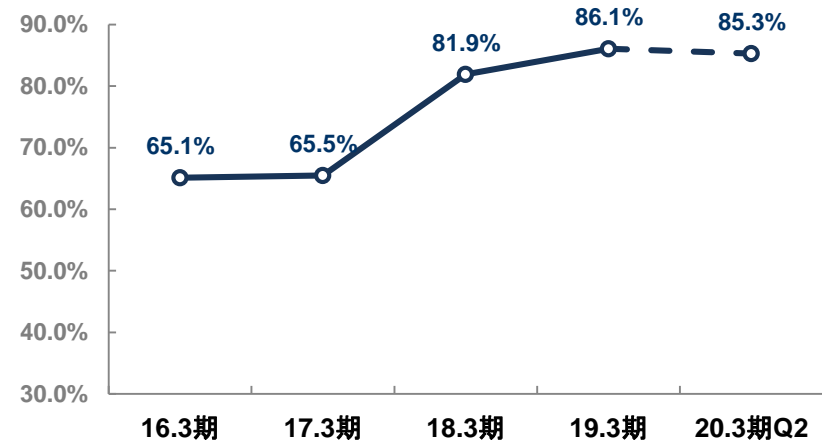


有利子負債・現金同等物及び短期性有価証券等残高

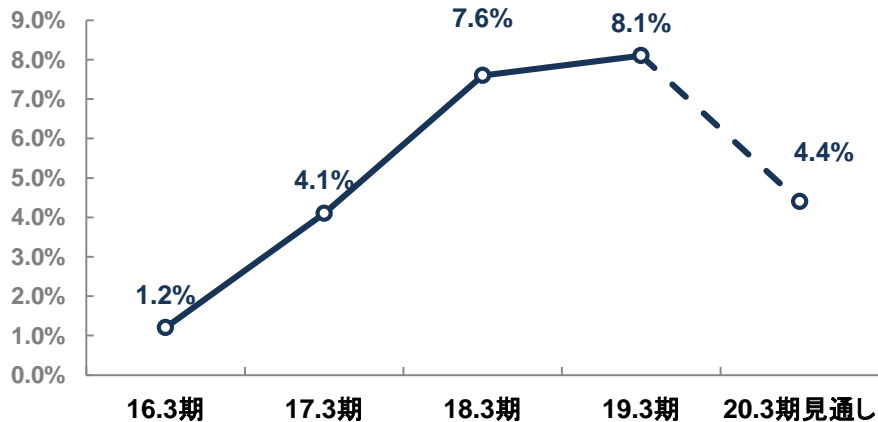
(単位：百万円)



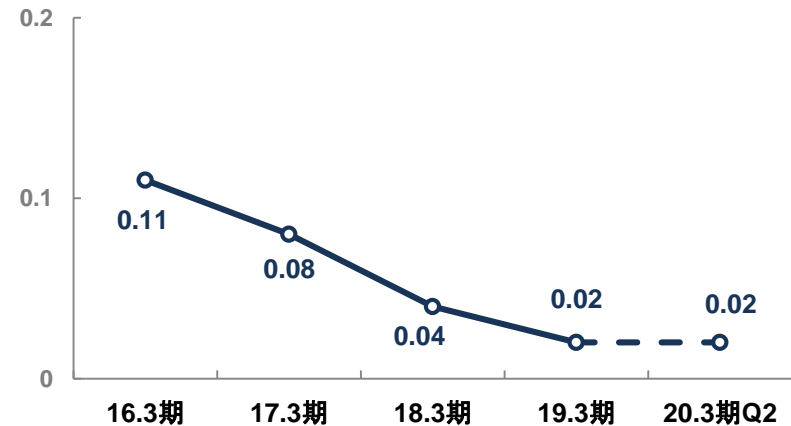
株主資本比率



ROE



D/Eレシオ

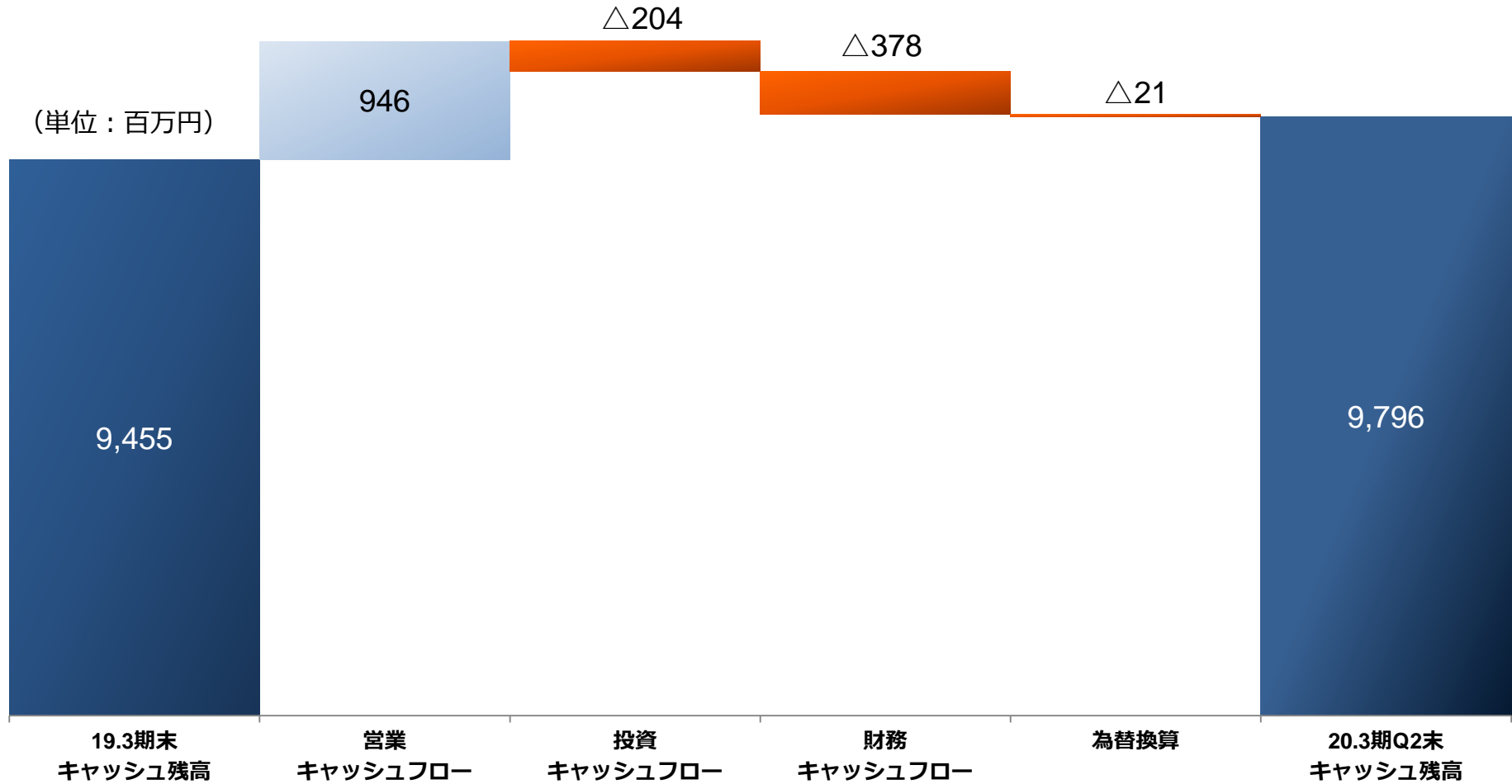


※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

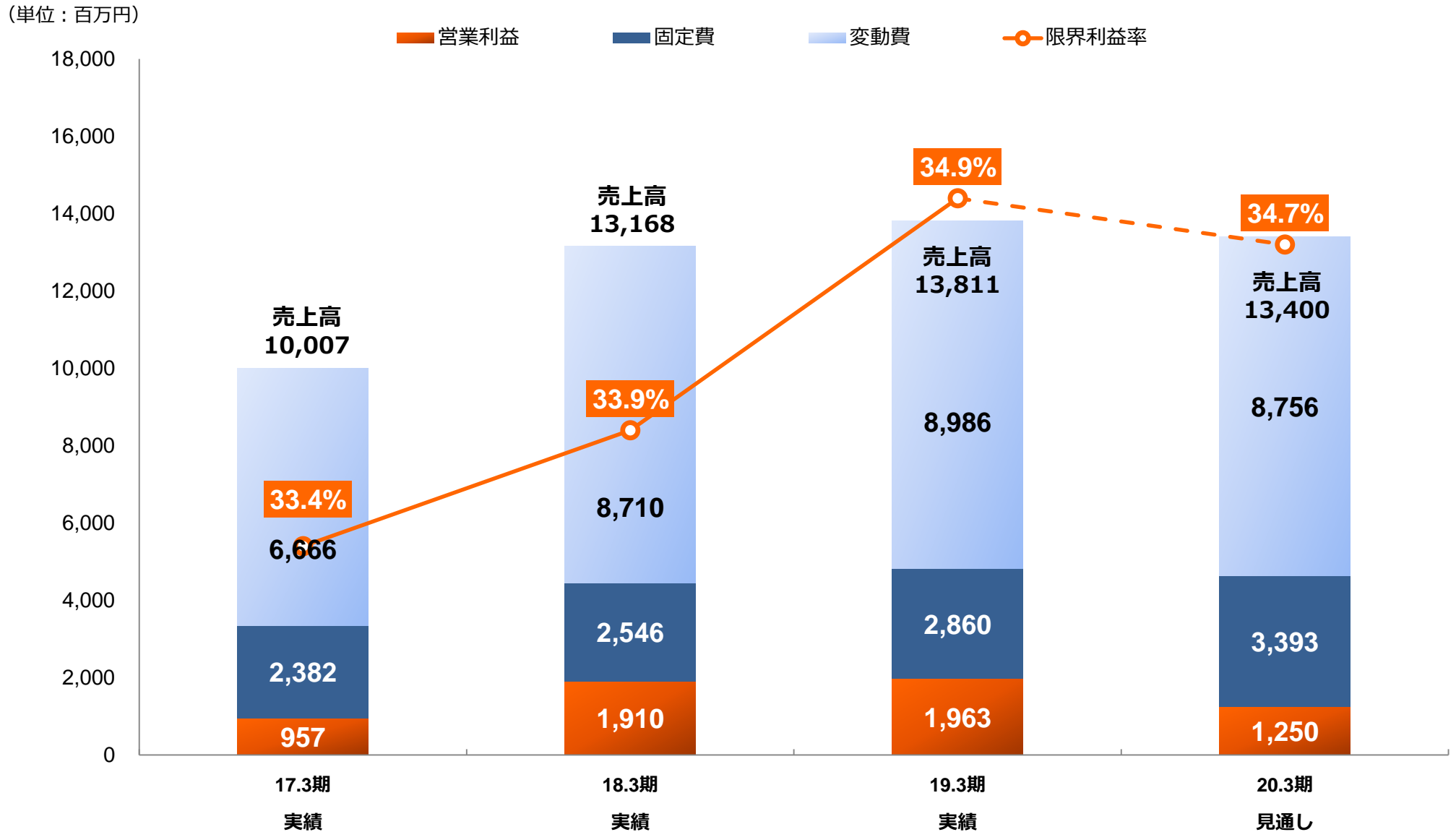
(単位：百万円)	2019/3期 期末	2020/3期 Q2	増減額	増減率		2019/3期 期末	2020/3期 Q2	増減額	増減率
流動資産	15,391	16,175	783	5.1%	流動負債	2,353	2,475	121	5.2%
現金及び預金	9,489	10,103	613	6.5%	支払手形及び買掛金	1,288	1,324	36	2.8%
受取手形及び 売掛金	3,252	3,657	405	12.5%	1年以内返済社債・長借	200	200	0	0.0%
商品・製品& 原材料・貯蔵品	2,370	2,167	△202	△8.6%	その他	865	950	85	9.8%
その他	278	246	△32	△11.5%	固定負債	565	627	61	10.9%
固定資産	5,641	4,926	△715	△12.7%	社債	200	100	△100	△50.0%
有形固定資産	3,540	4,156	616	17.4%	退職給付に係る負債	190	224	34	18.1%
無形固定資産	346	340	△5	△1.7%	その他	175	302	127	72.6%
投資その他資産	1,754	429	△1,336	△75.5%	純資産合計	18,113	17,998	△114	△0.6%
資産合計	21,032	21,101	68	0.3%	負債純資産合計	21,032	21,101	68	0.3%

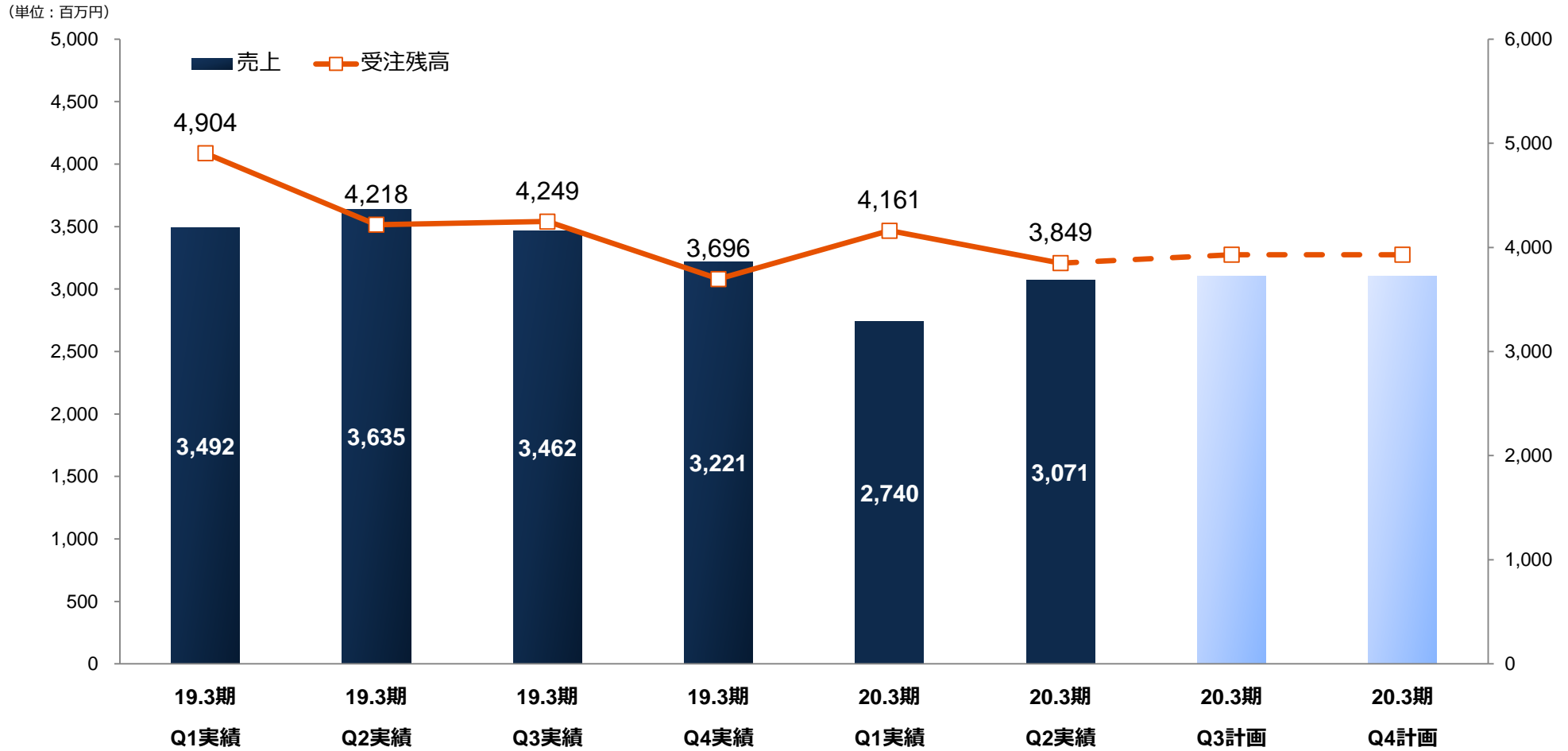
*自己資本比率 86.1% 85.3%



(単位：百万円)

Currency	Incoming		Outgoing		Net 各通貨	期中 平均レート (JPY)	円高ケース (10%)			円安ケース(10%)		
	各通貨	構成比	各通貨	構成比			期中平均 レート ▲10% (JPY)	レート 差額	影響額 (QTD)	期中平均 レート +10% (JPY)	レート 差額	影響額 (QTD)
JPY	¥7,400.0	72%	¥6,600.0	69%	¥800.0	-	-	-	-	-	-	-
USD	\$22.7	24%	\$20.5	23%	\$2.2	¥108.6	¥97.77	¥-10.86	¥-23.90	¥119.49	¥10.86	¥23.90
EUR	€ 1.8	2%	€ 1.5	2%	€ 0.3	¥121.4	¥109.28	¥-12.1	¥-3.64	¥133.56	¥12.14	¥3.64
PHP	PP0.0	0%	PP223.7	5%	PP-223.7	¥2.1	¥1.89	¥-0.2	¥46.98	¥2.31	¥0.21	¥-46.98
THB	฿36.00	1%	฿18.50	1%	฿17.50	¥3.5	¥3.14	¥-0.3	¥-6.11	¥3.84	¥0.35	¥6.11
Total	-	100%	-	100%	-	-	-	-	¥13.33	-	-	¥-13.33





量産化技術を生かし、様々な分野へ 「YAMASHIN Nano Filter™」を展開

必要分野には
M&Aの実施を検討

Phase 3
中期的

Phase 1
2019.3期

Phase 2
2020.3期

建材・バイオ分野などへ
展開（例）



建機・エアフィルタ
農業用資材分野・ア
パレルへの進出

自動車分野への展開



Paradigm Shift

コンタミ

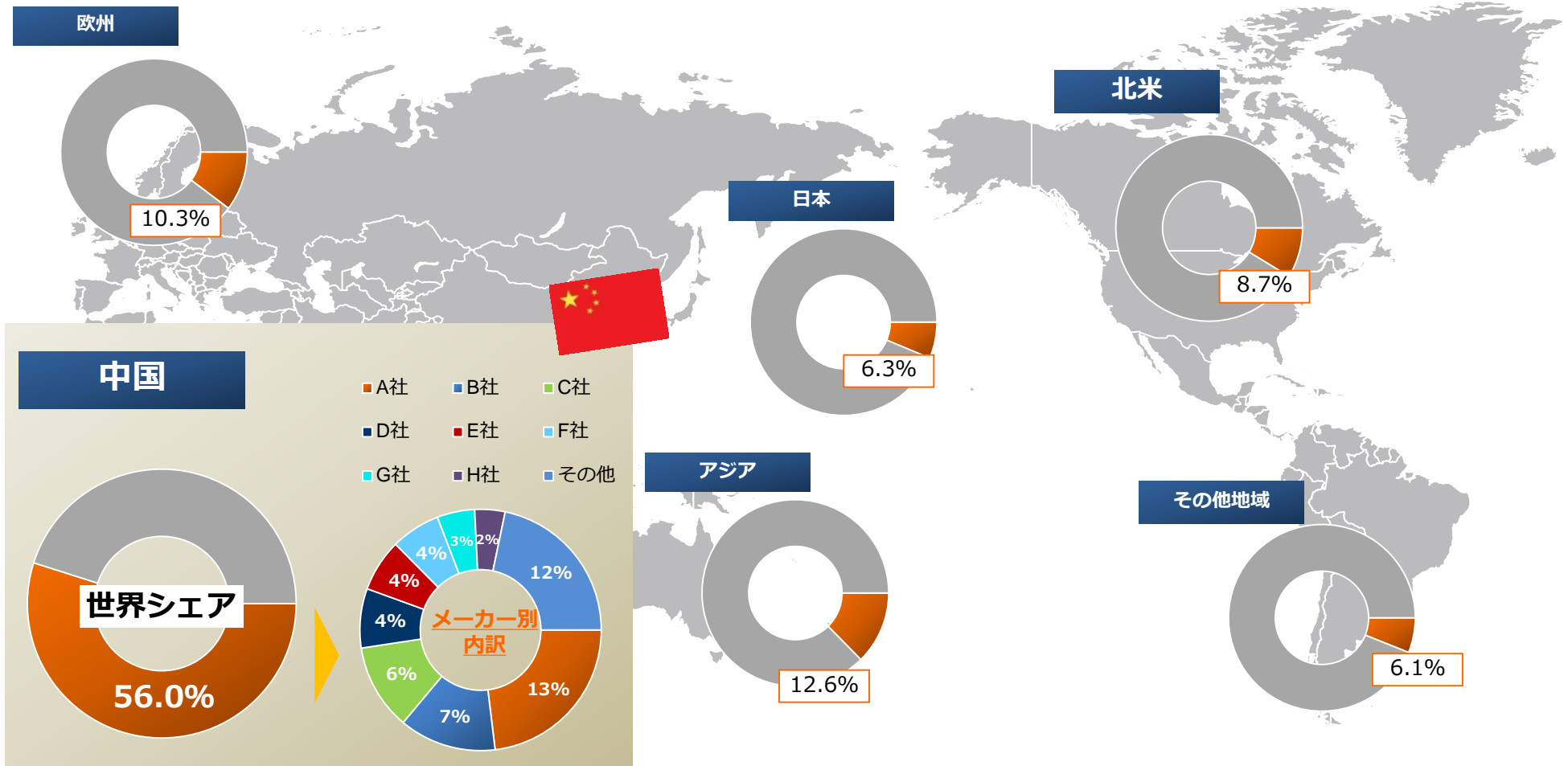
光

熱

音

バイオ

全世界の油圧シヨベル販売のうち、56.0%が中国向けに販売



世界トップシェアを誇る建機用フィルタ事業

建機用フィルタ事業は、インフラ整備の投資拡大及びアフターマーケットの強さを背景に持続的な成長が見込まれる

売上及び利益面で大きな貢献が予想される新規事業

多様な用途への活用が期待される「YAMASHIN Nano Filter™」が成長ドライバー



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 広報・IR担当まで

TEL 045-680-1680

E-mail ir@yamashin-filter.co.jp